

Ⅲ. 調査結果

1 男女の地位に関する意識について

(1) 各分野での男女の地位の平等感

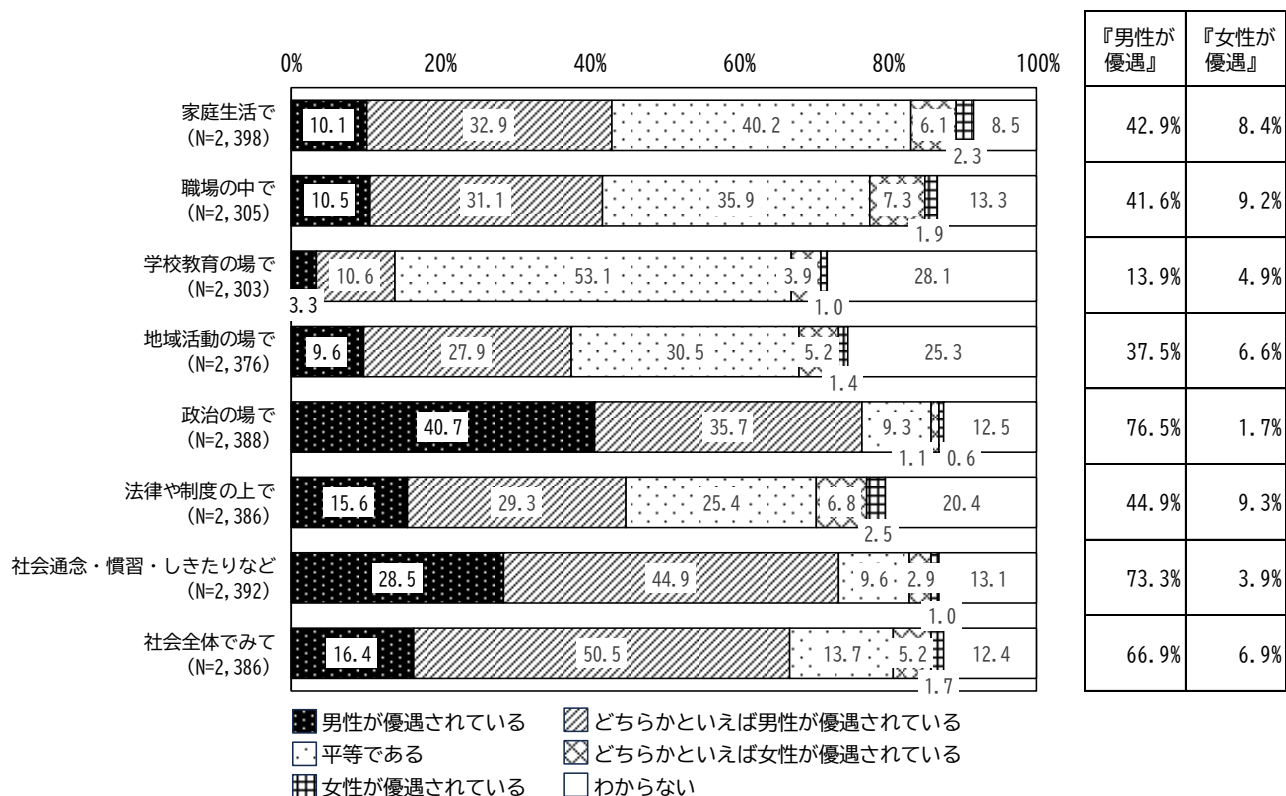
問9 あなたは、次にあげるそれぞれの分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。それぞれの項目について番号を1つずつ選んでください。

●社会全体でみると「平等である」は13.7%、『男性が優遇』されているが66.9%

各分野での男女の地位の平等感は、「男性が優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせた『男性が優遇』は、「社会全体でみて」では66.9%である。

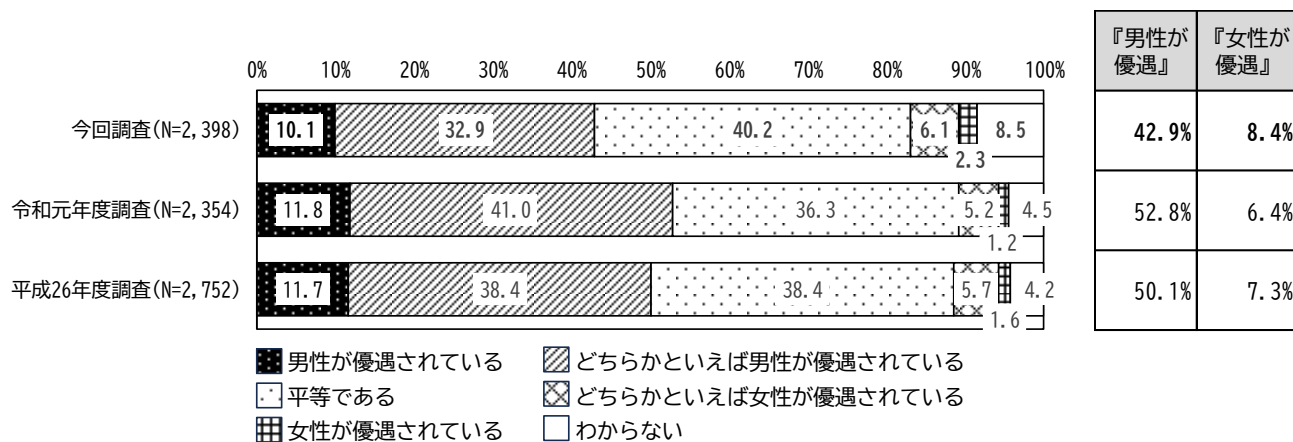
分野別にみると、『男性が優遇』が大きな割合を占めるのは「政治の場で」が最も多く76.5%、次いで「社会通念・慣習・しきたりなど」が73.3%と続いている。

「平等である」は、「学校教育の場で」が最も多く53.1%となっている。



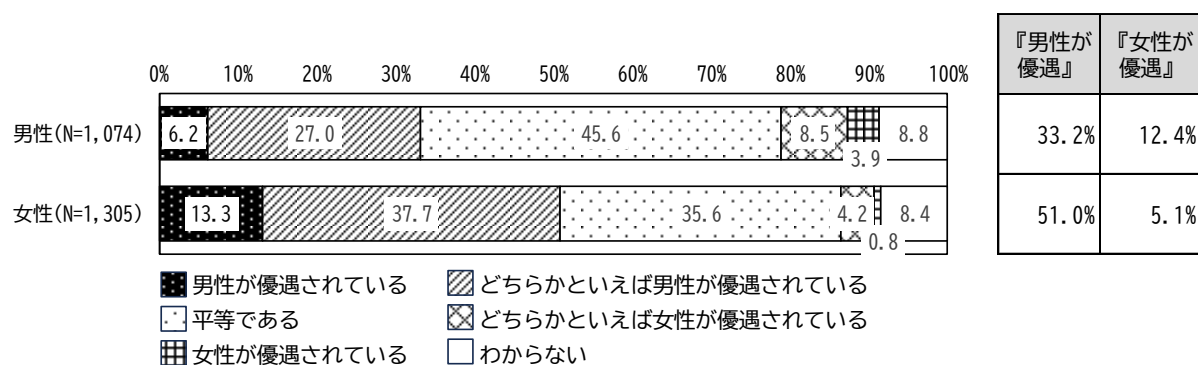
① 家庭生活で

家庭生活での平等感は、令和元年度調査と比較して、「平等である」が3.9ポイント、『女性が優遇』が2.0ポイント上昇し、『男性が優遇』が9.9ポイント低下している。



【性別】（家庭生活で）

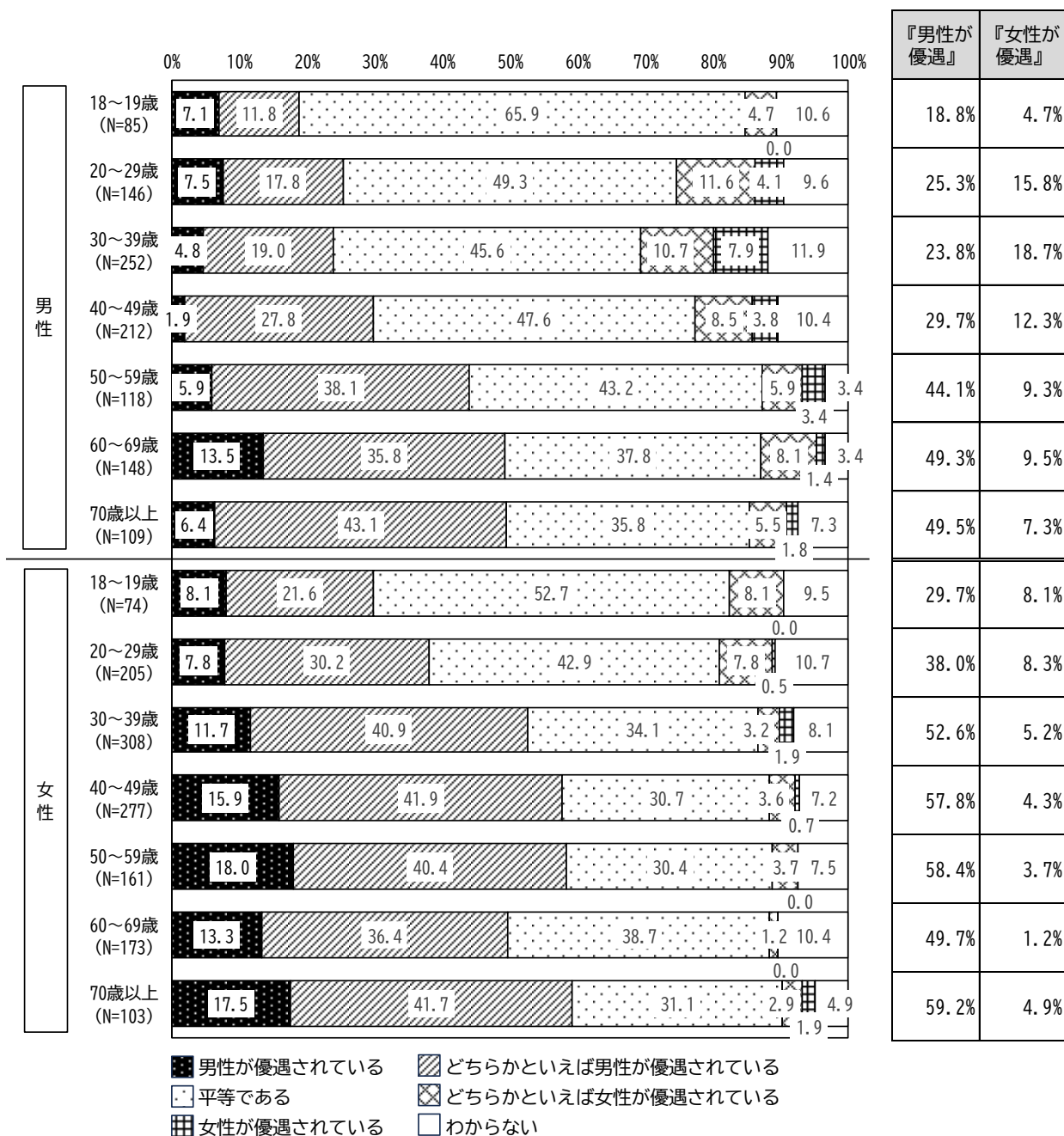
女性では、『男性が優遇』が51.0%と半数を超えており、男性の33.2%を17.8ポイント上回っている。



【性・年代別】（家庭生活で）

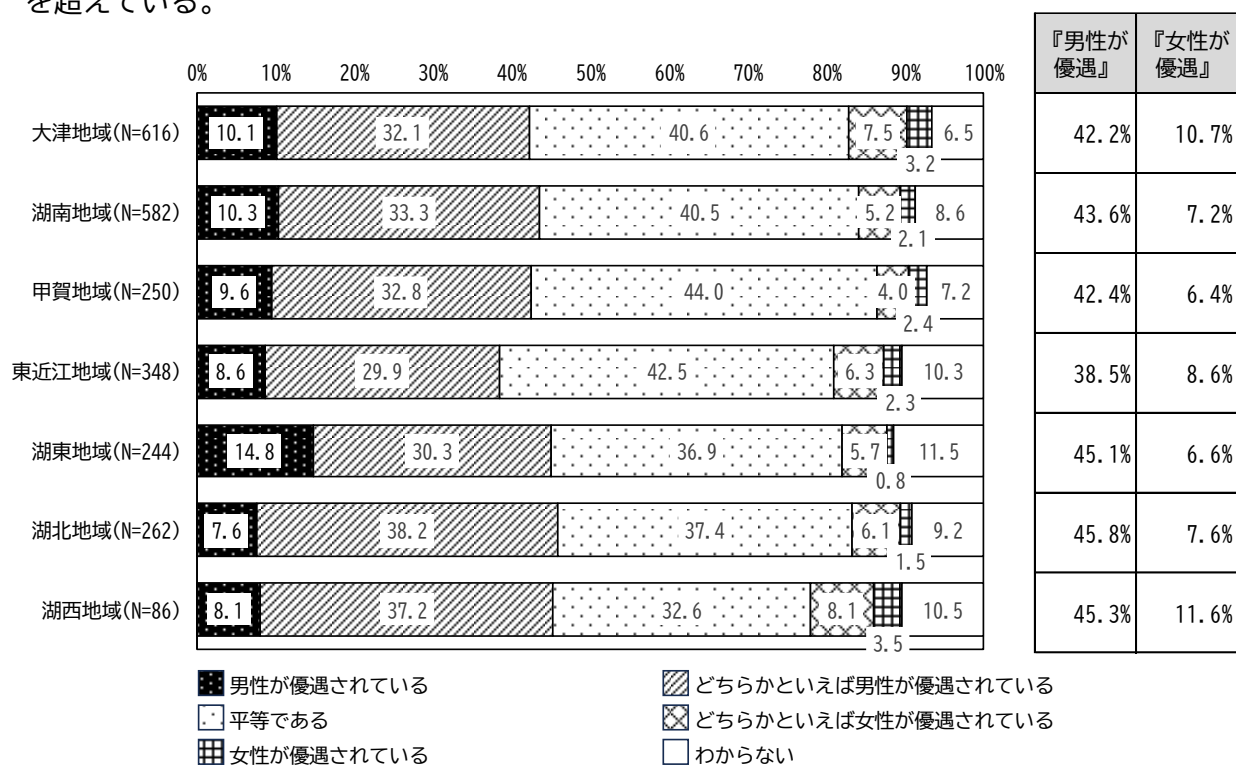
男性では、どの年代においても『男性が優遇』が 50%以下となっている。

女性では、概ね 30 歳以上（60～69 歳は除く）の年代は『男性が優遇』が 50%を超えている。また、男性よりどの年代においても『男性が優遇』の意識が高くなっている。



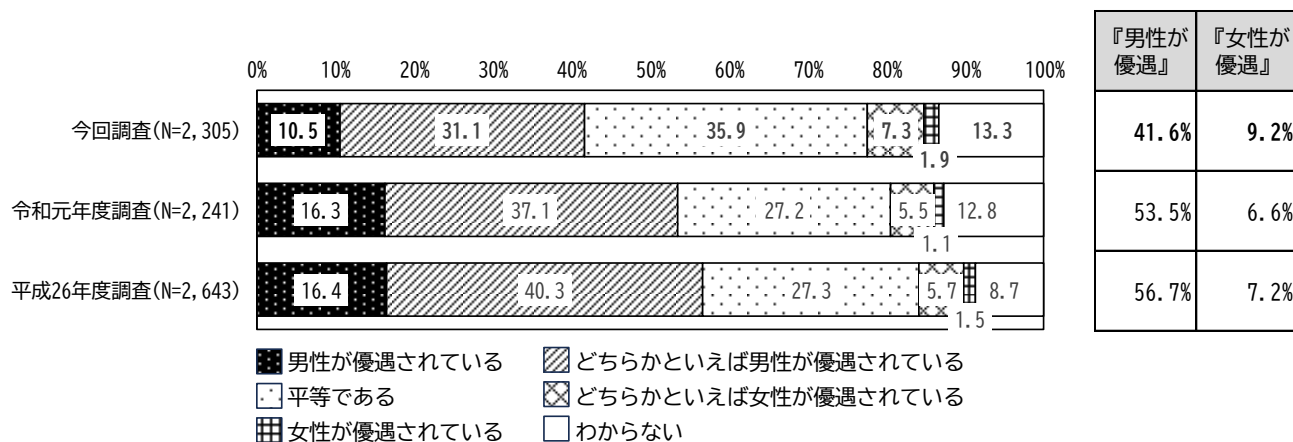
【地域別】（家庭生活で）

大津地域、湖南地域、甲賀地域、湖東地域、湖北地域、湖西地域では、『男性が優遇』が40%を超えている。



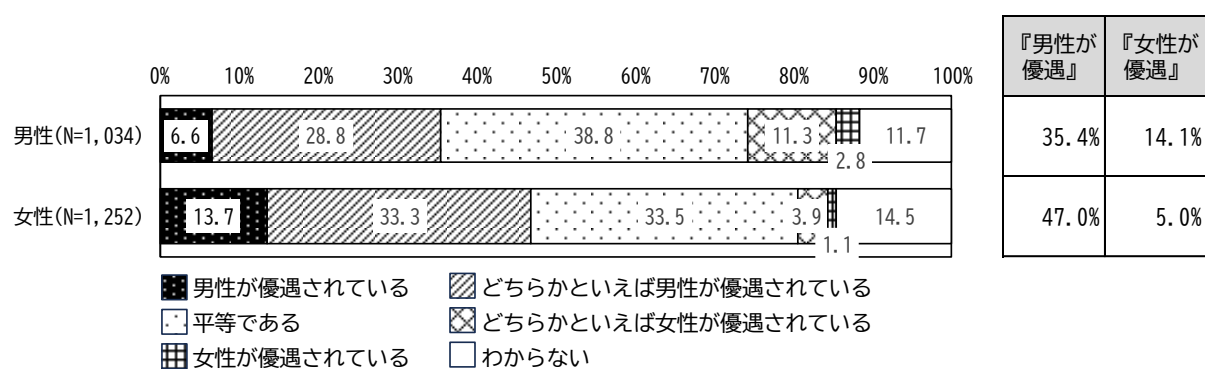
② 職場の中で

職場の中での平等感は、令和元年度調査と比較して、『男性が優遇』が11.9ポイント低下している。



【性別】（職場の中で）

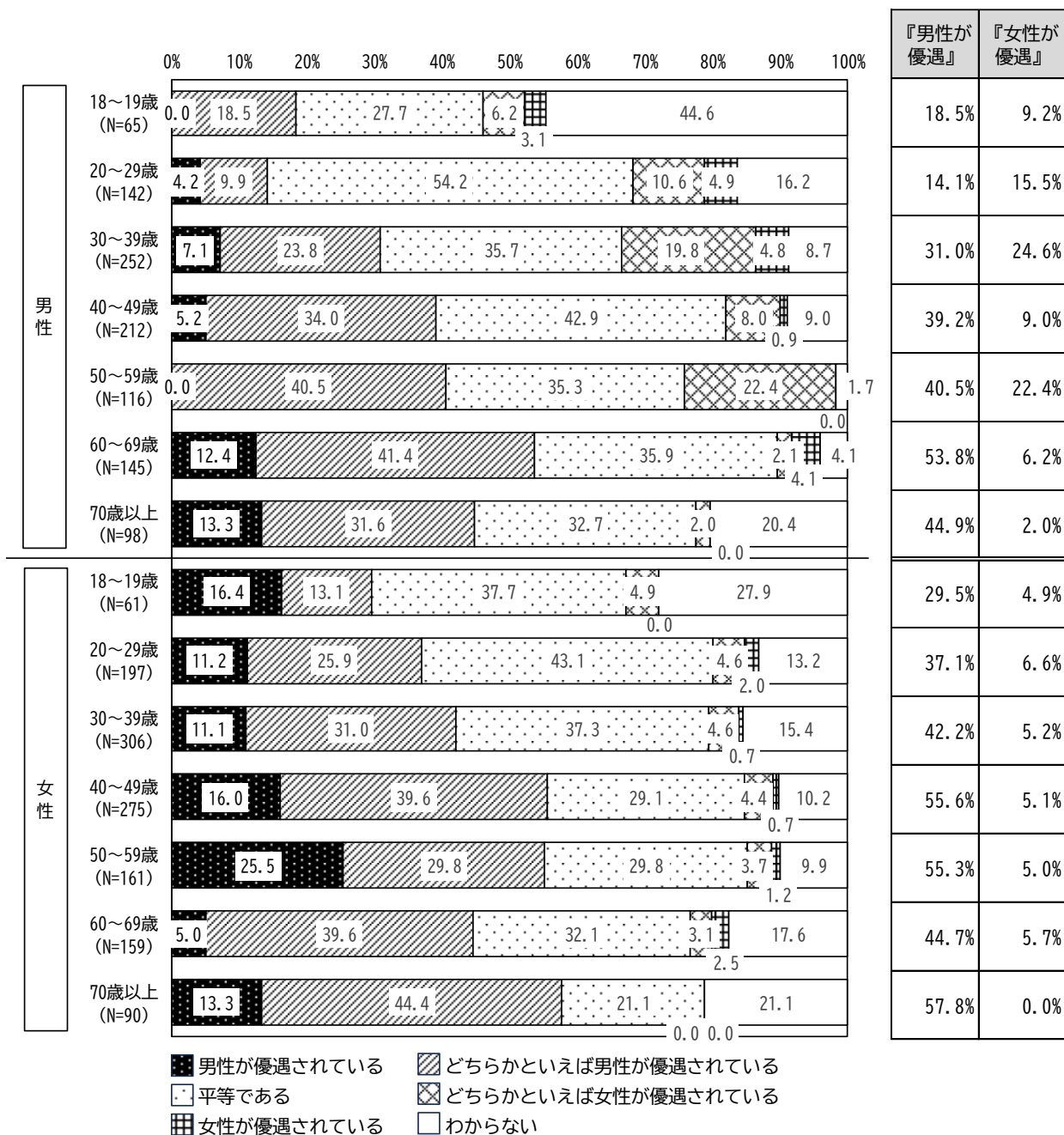
女性では、『男性が優遇』が47.0%、男性の35.4%を11.6ポイント上回っている。



【性・年代別】（職場の中で）

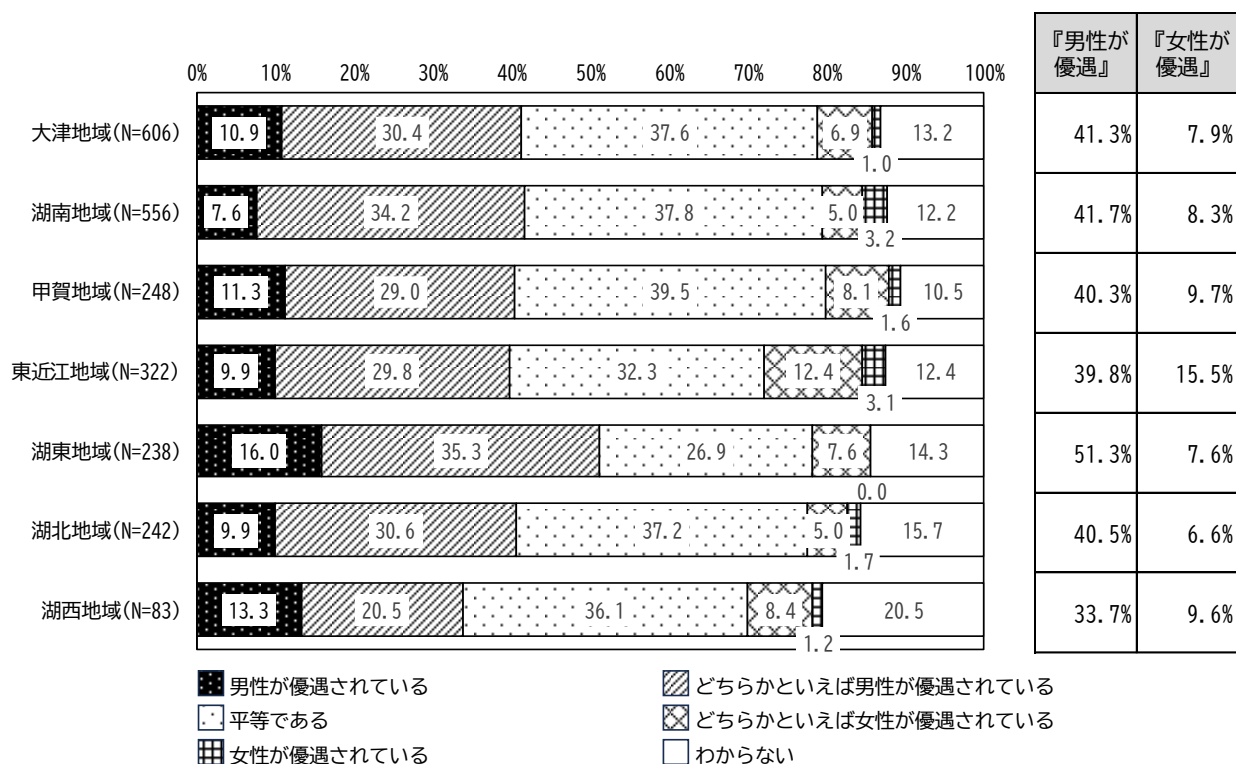
男性では、60～69 歳は『男性が優遇』が最も多く 53.8%となっている。

女性では、40～59 歳、70 歳以上の年代は『男性が優遇』が 50%を超えている。



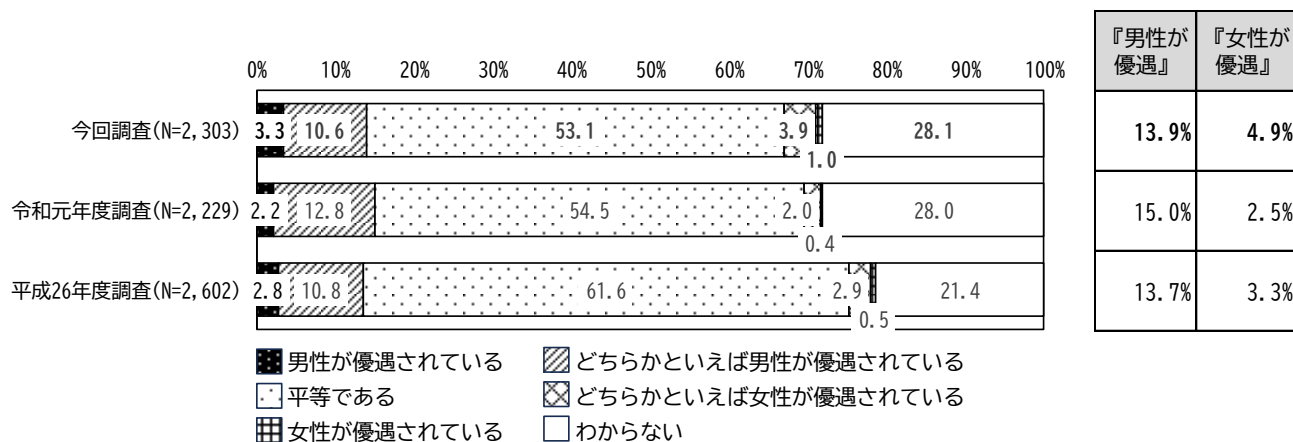
【地域別】（職場の中で）

大津地域、湖南地域、甲賀地域、湖東地域、湖北地域では、『男性が優遇』が40%を超えており、湖東地域が最も多く51.3%となっている。



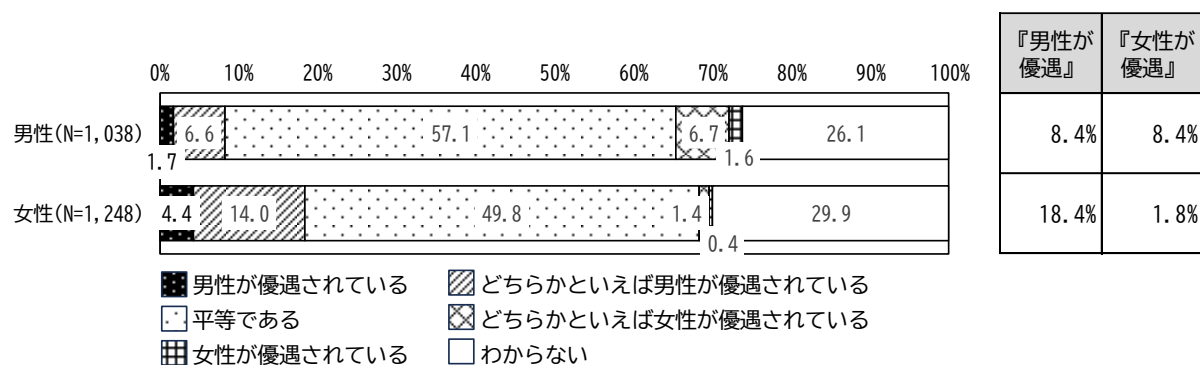
③ 学校教育の場で

学校教育の場での平等感は、「平等である」が最も多く 53.1%、令和元年度調査と比較して 1.4 ポイント低下している。



【性別】（学校教育の場で）

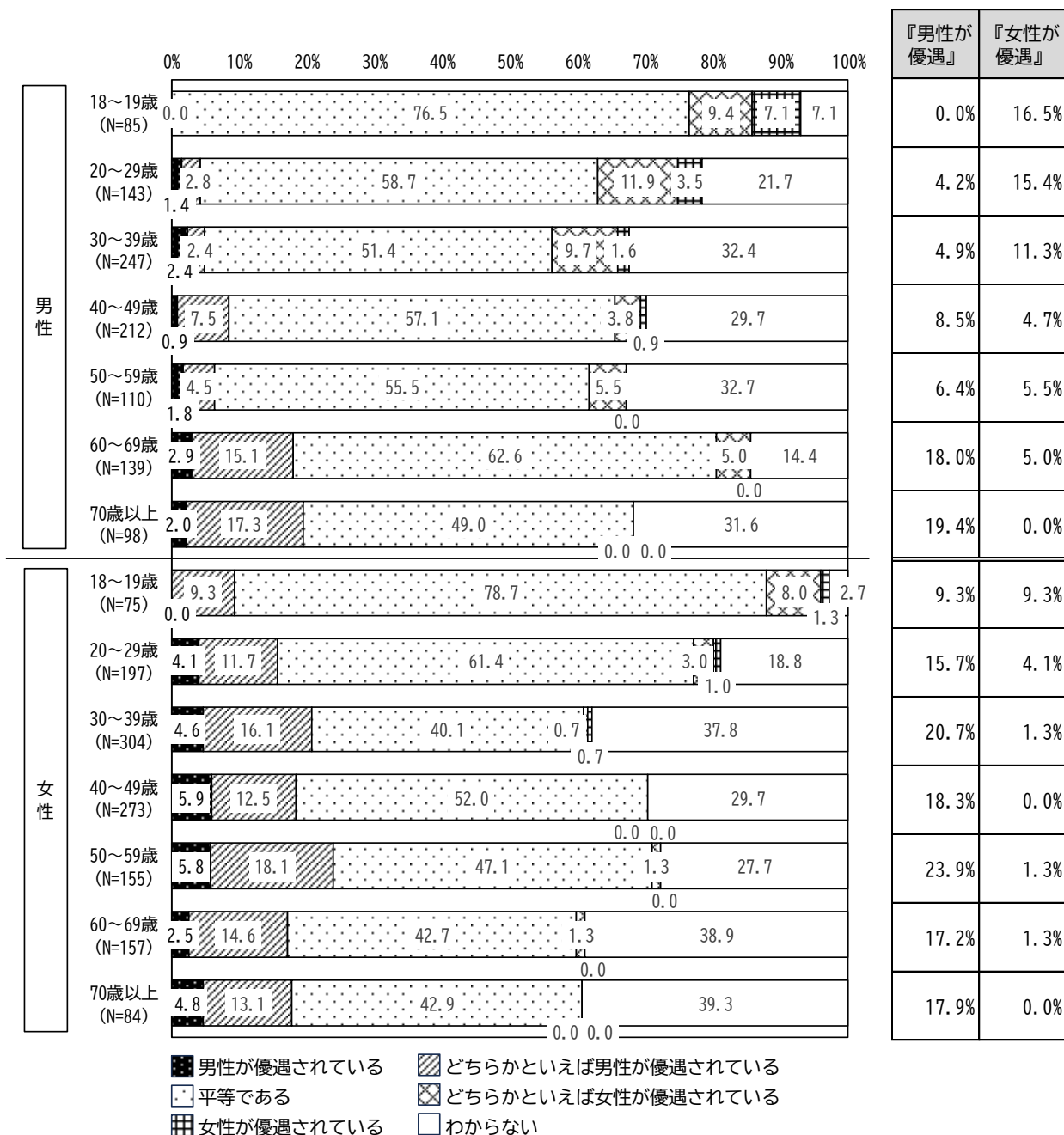
「平等である」が男性は 57.1%、女性は 49.8% で最も多くなっているが、男性では、『男性が優遇』の割合が 8.4% であるのに対し、女性では 18.4% となっており、女性の方が 10.0 ポイント高くなっている。



【性・年代別】（学校教育の場で）

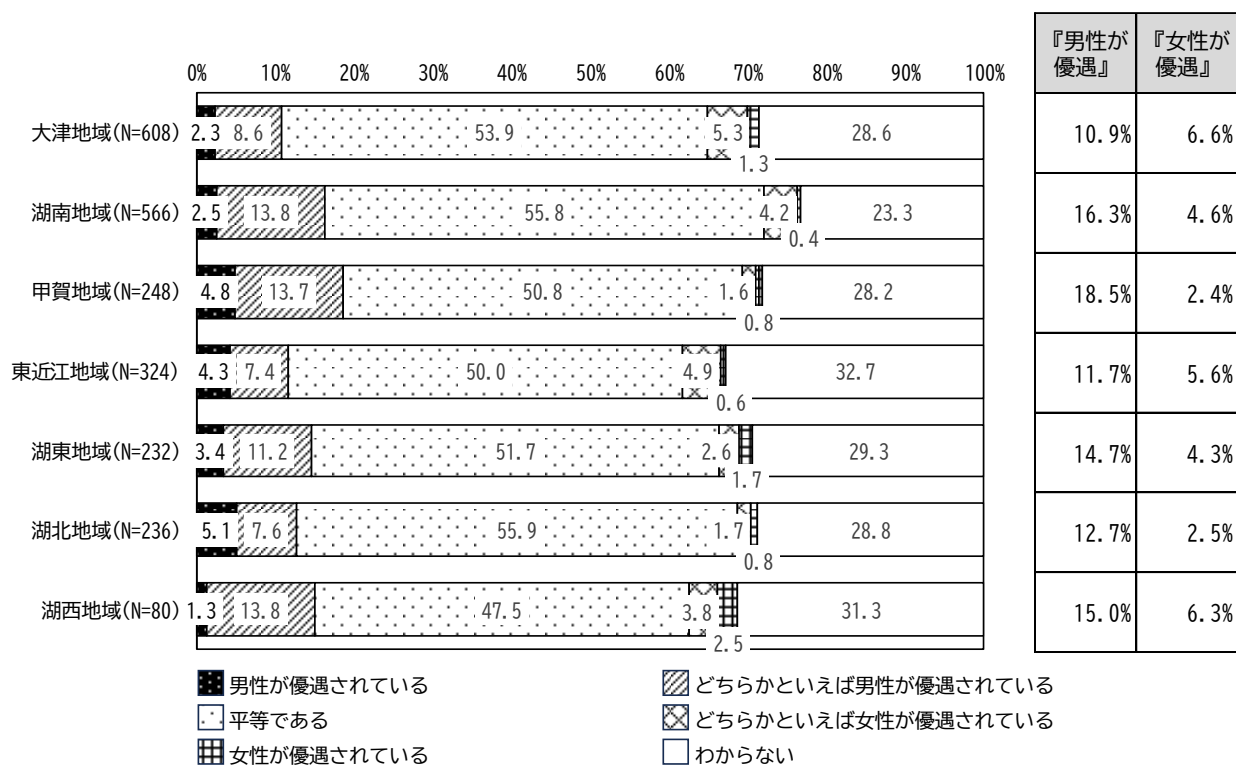
男性では、概ねどの年代（70歳以上を除く）においても「平等である」が50%を超えており、18～19歳が最も多く76.5%となっている。

女性では、18～29歳、40～49歳の年代は「平等である」が50%を超えており、18～19歳が最も多く78.7%となっている。



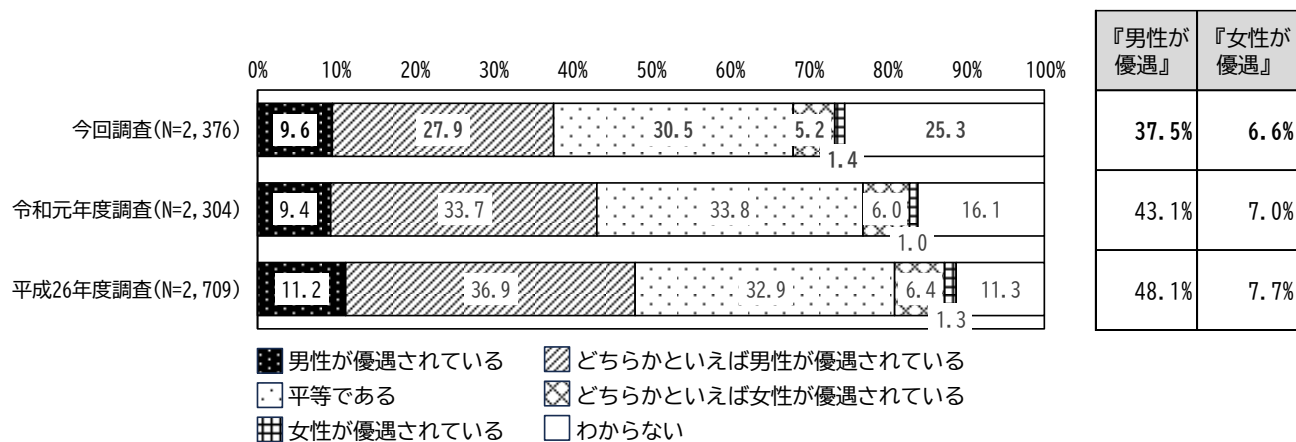
【地域別】（学校教育の場で）

どの地域においても「平等である」が多くなっている。



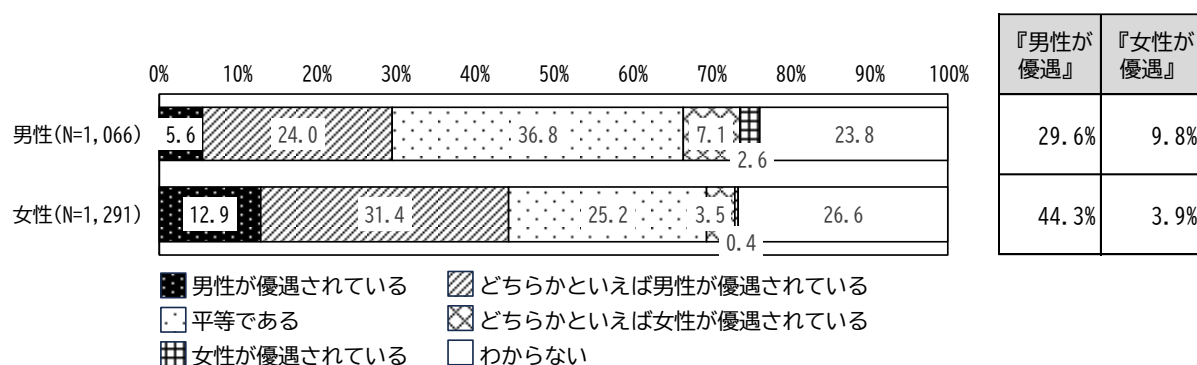
④ 地域活動の場で

地域活動の場での平等感は、令和元年度調査と比較して、『男性が優遇』は 5.6 ポイント低下している。



【性別】（地域活動の場で）

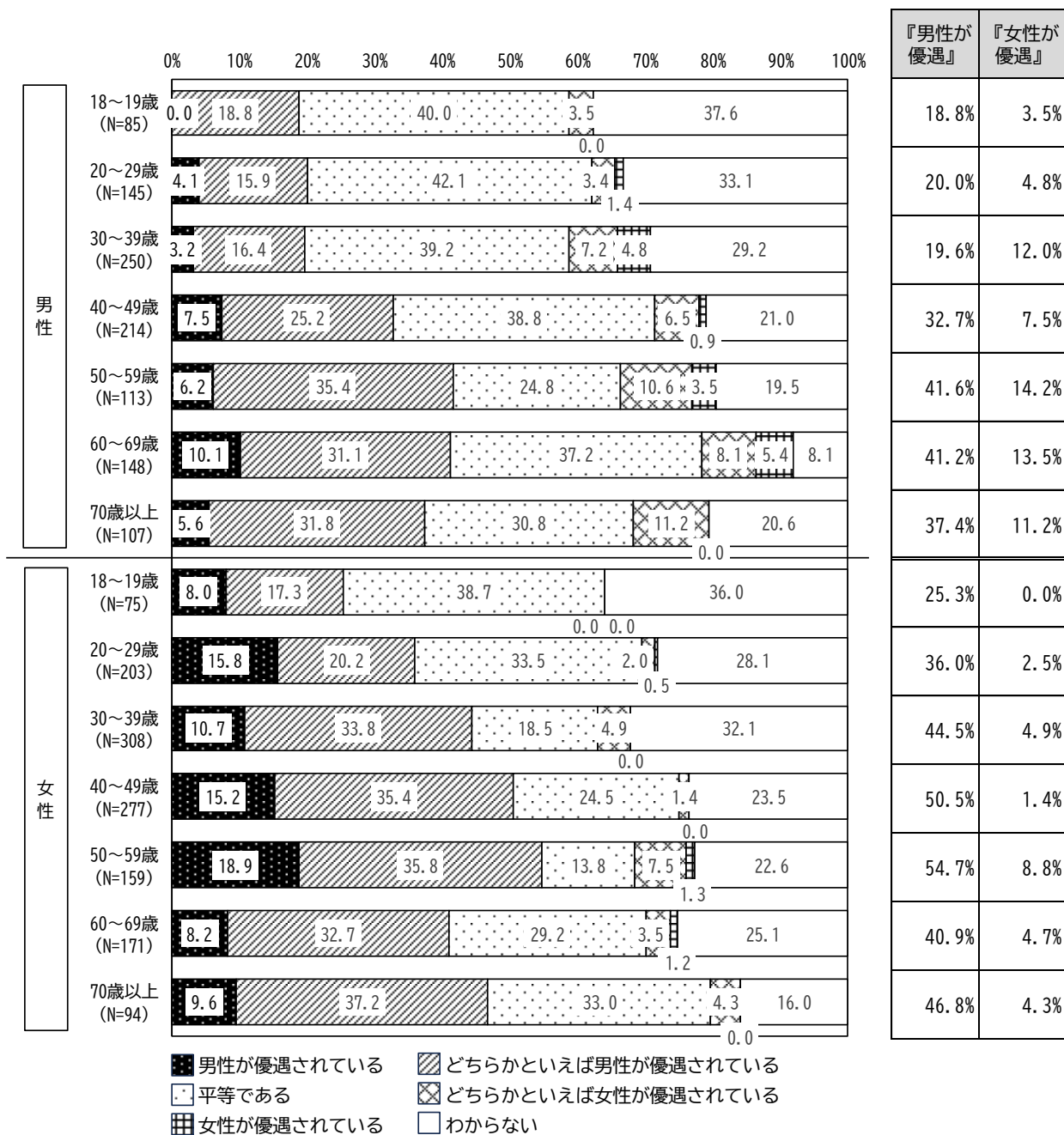
男性では、「平等である」が 36.8%で最も多いが、女性では、『男性が優遇』の割合が 44.3%を占め、男性の 29.6%を 14.7 ポイント上回っている。



【性・年代別】（地域活動の場で）

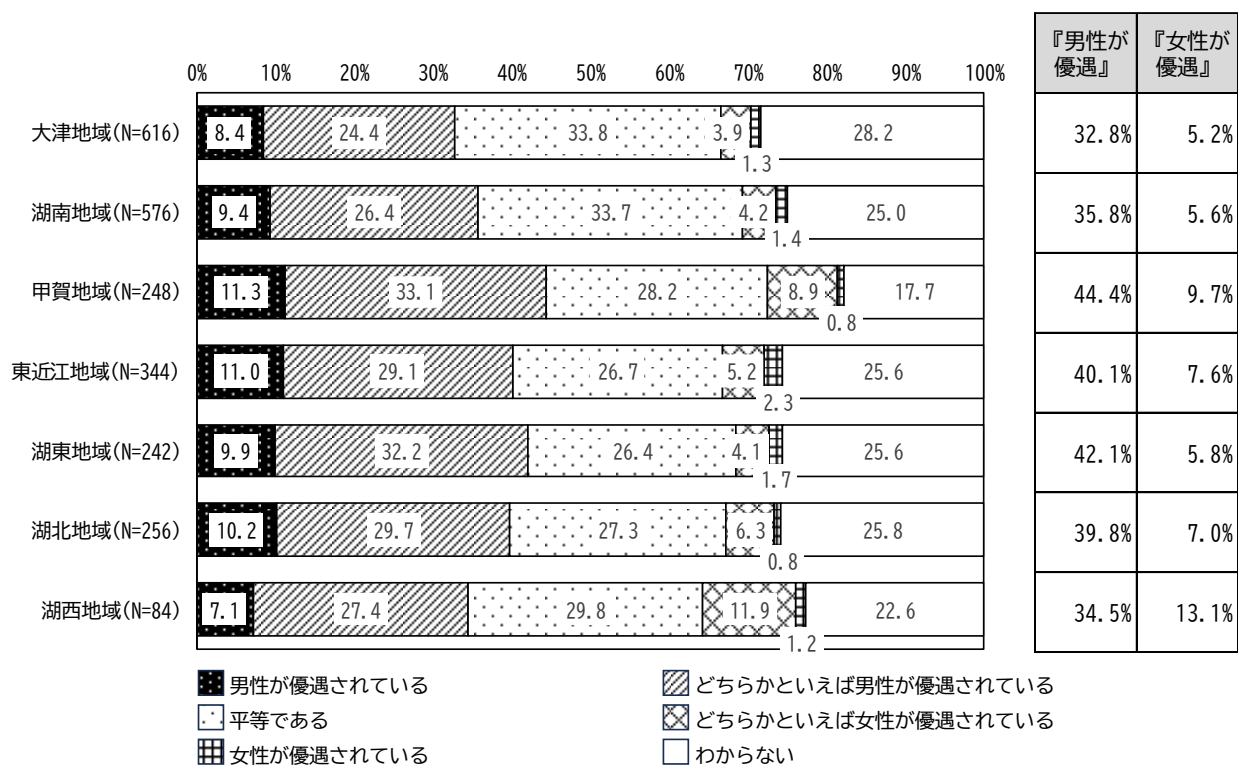
男性では、50～69 歳は『男性が優遇』が 40%を超えている。

女性では、40～59 歳は『男性が優遇』が 50%を超えている。



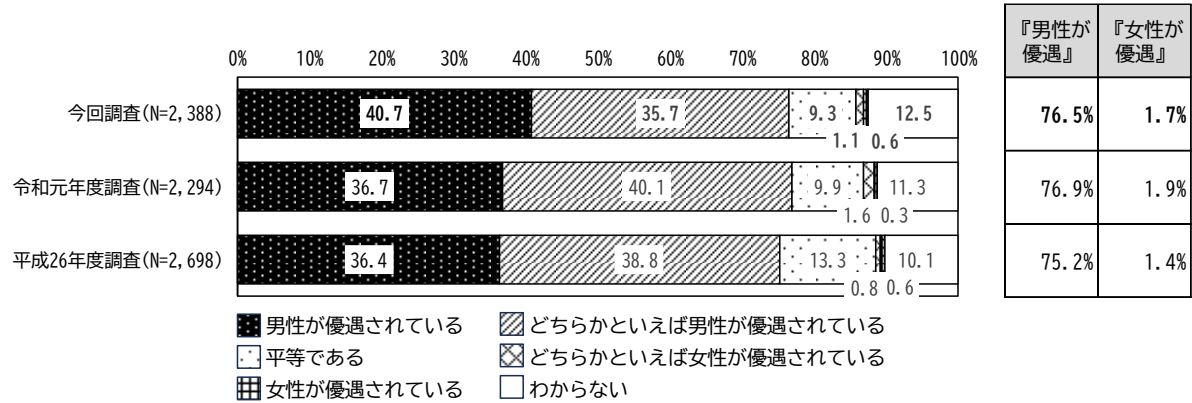
【地域別】（地域活動の場で）

甲賀地域、東近江地域、湖東地域では、『男性が優遇』が40%を超えている。



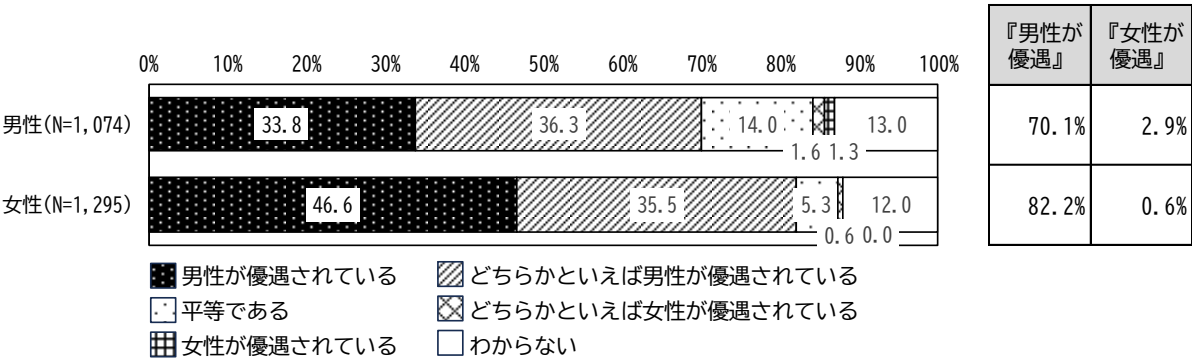
⑤ 政治の場で

政治の場での平等感は、令和元年度調査と比較して、『男性が優遇』は0.4ポイント、「平等である」は0.6ポイント低下している。



【性別】（政治の場で）

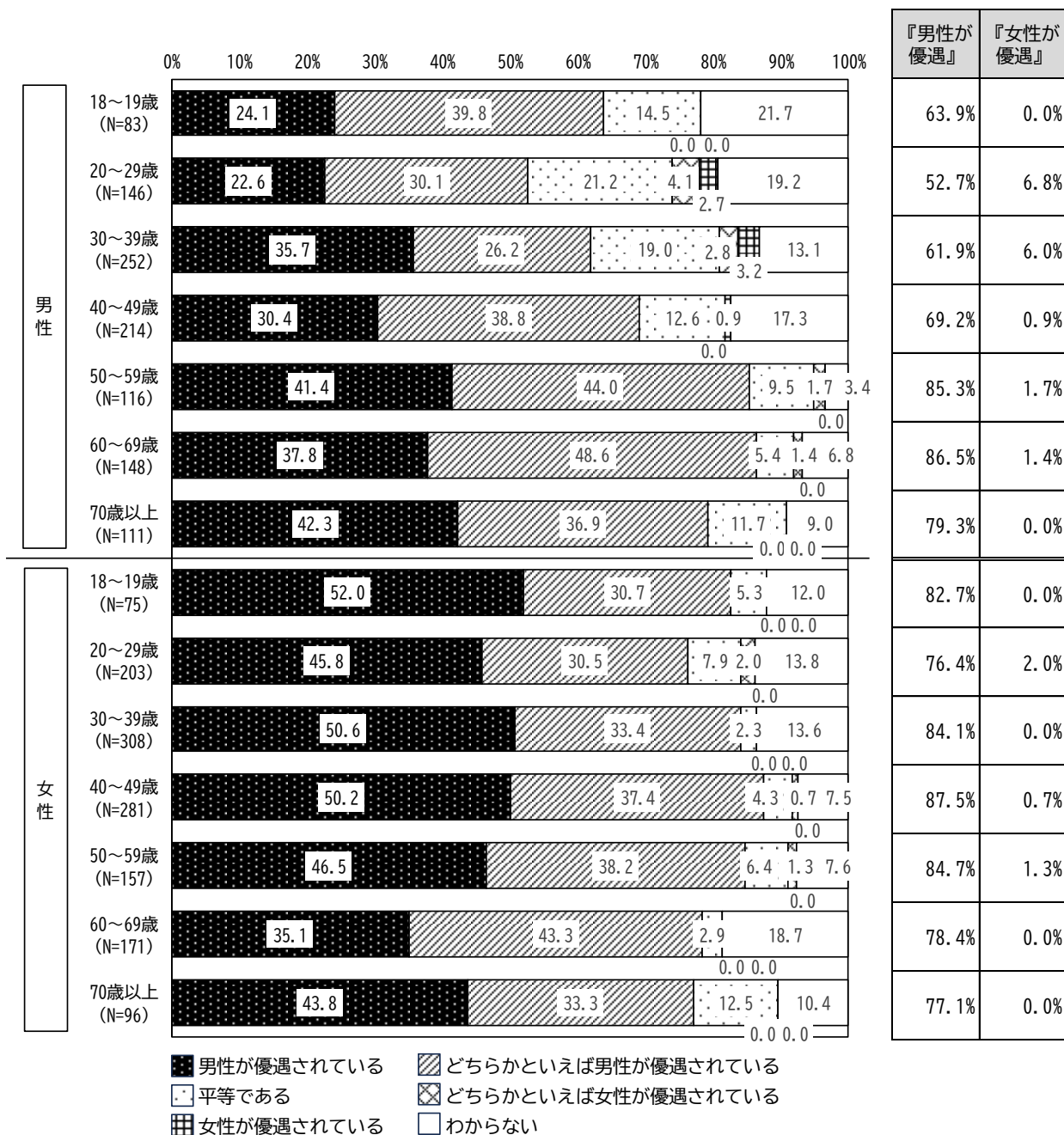
女性では、『男性が優遇』が82.2%、男性の70.1%を12.1ポイント上回っている。



【性・年代別】（政治の場で）

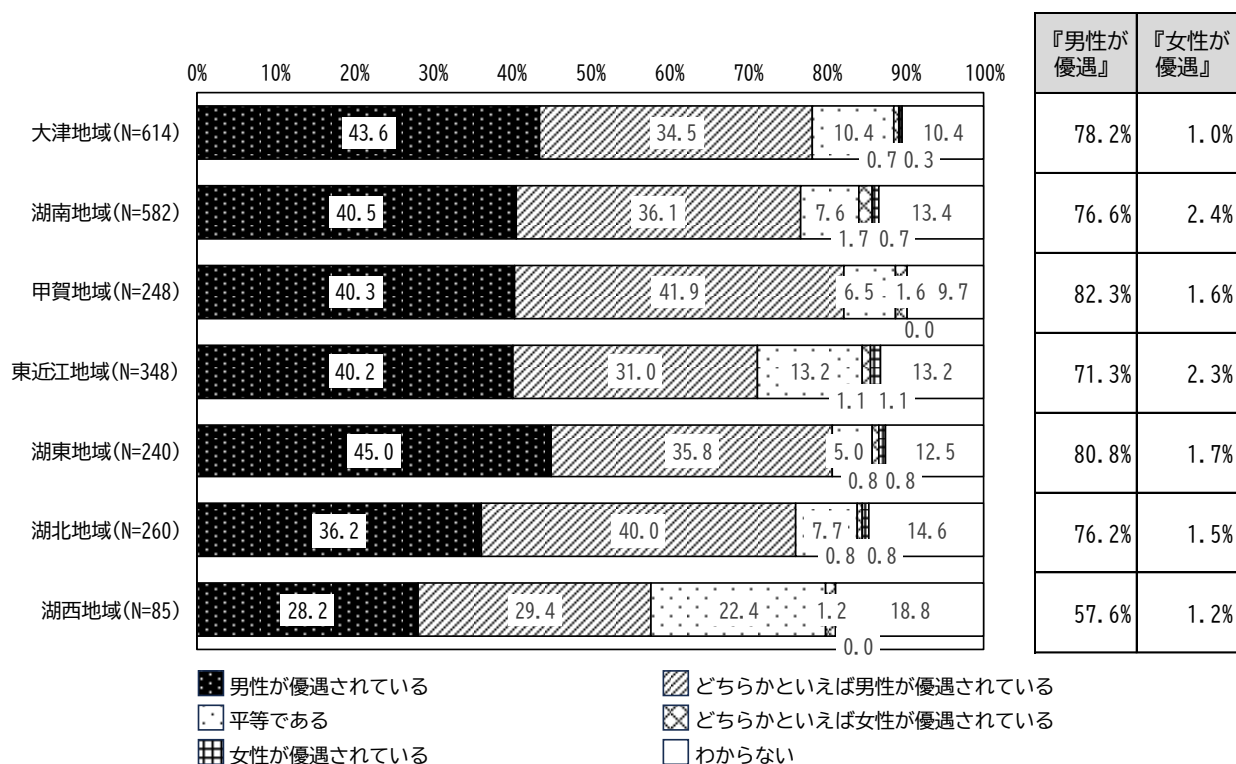
男性では、どの年代においても『男性が優遇』が50%を超えており、60～69歳が最も多く86.5%となっている。

女性では、どの年代においても『男性が優遇』が70%を超えており、40～49歳が最も多く87.5%となっている。



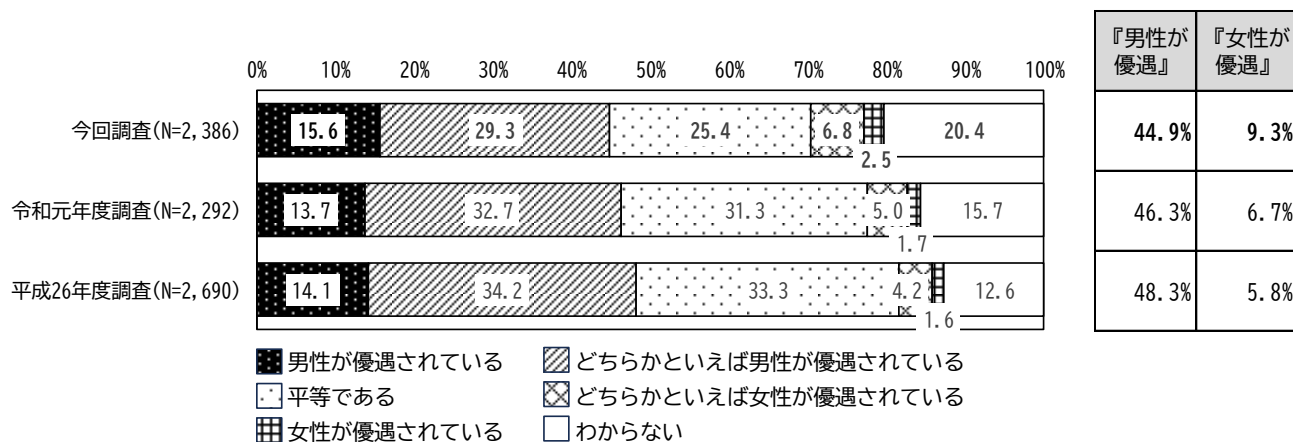
【地域別】（政治の場で）

どの地域においても『男性が優遇』が70%を超えており、甲賀地域が最も多く82.3%、次いで湖東地域が80.8%となっている。



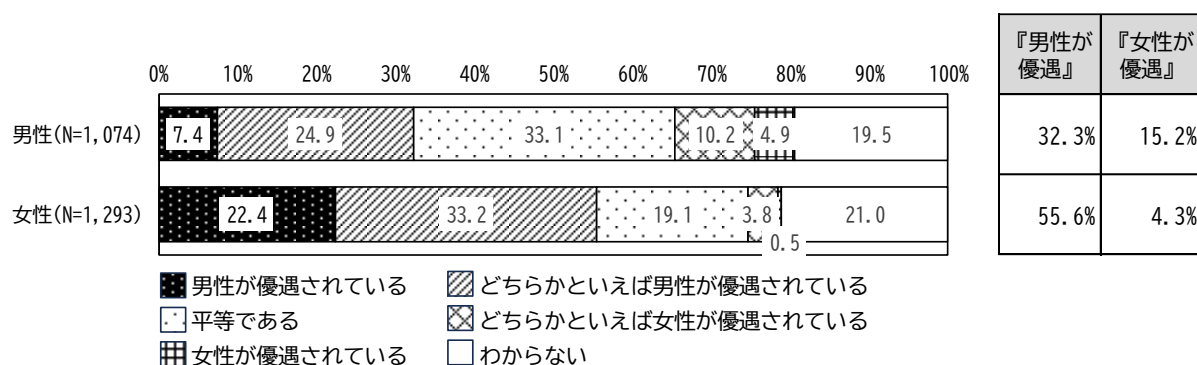
⑥ 法律や制度の上で

法律や制度の上での平等感は、令和元年度調査と比較して、『男性が優遇』は1.4ポイント、「平等である」は5.9ポイント低下している。



【性別】（法律や制度の上で）

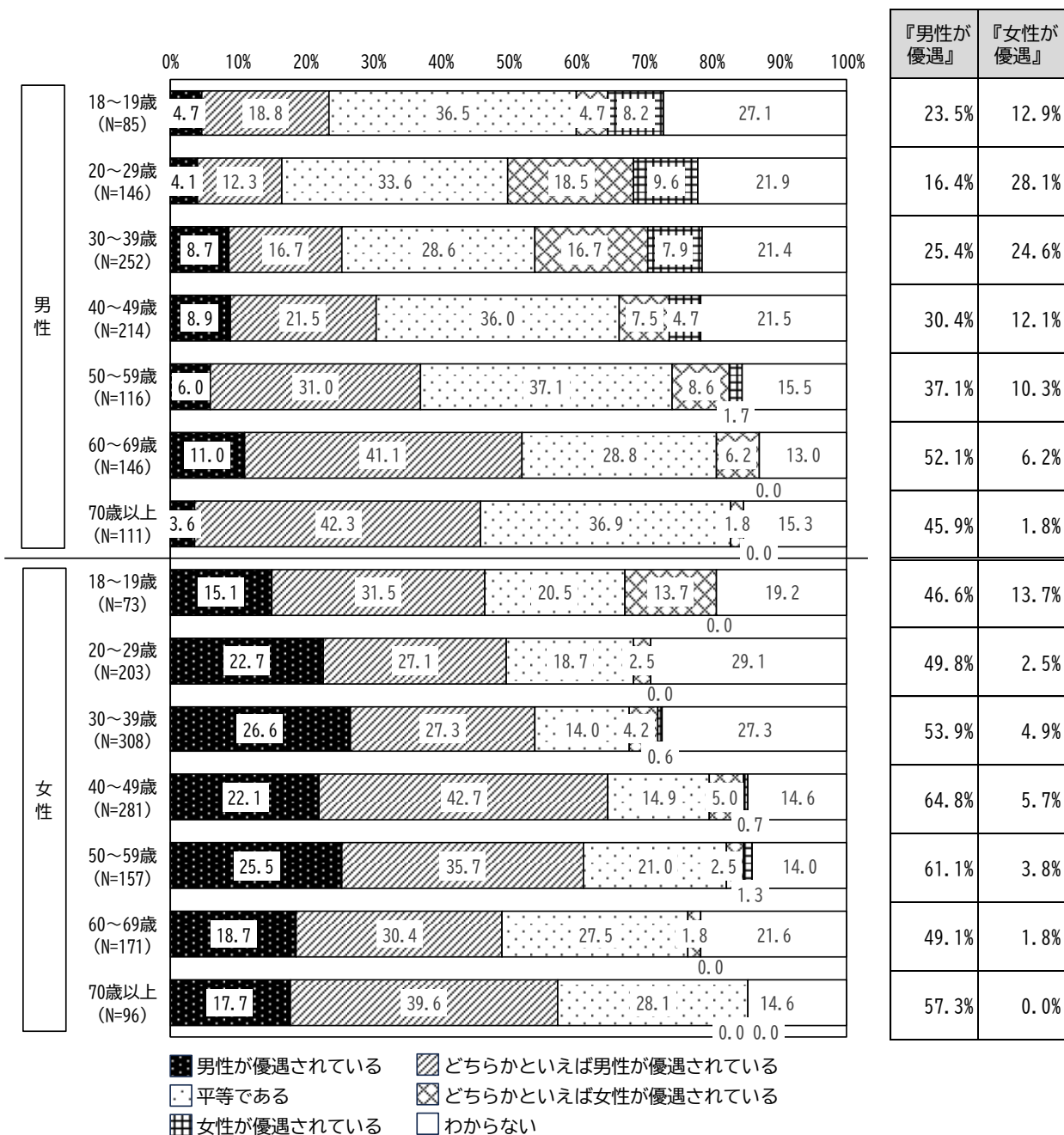
女性では、『男性が優遇』が55.6%と高く、男性の32.3%を23.3ポイント上回っている。男性では、「平等である」が最も多く33.1%となっている。



【性・年代別】（法律や制度の上で）

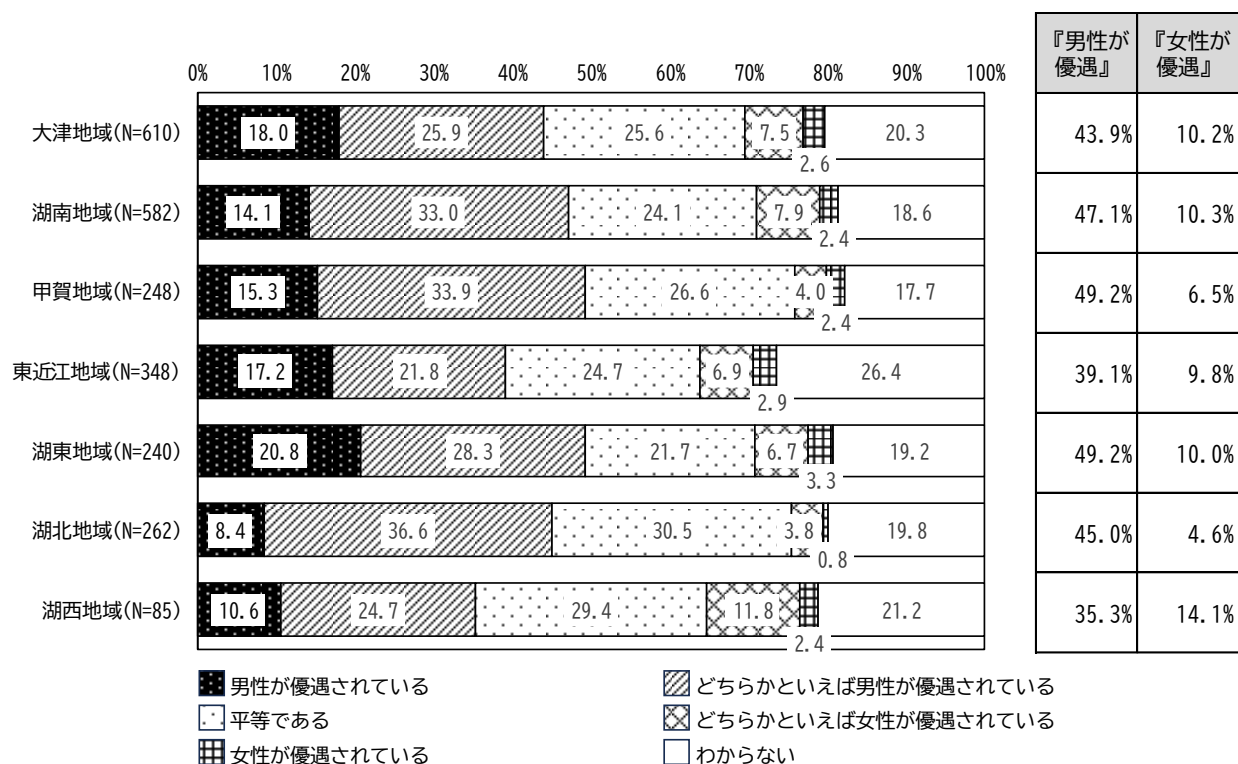
男性では、30～39 歳、60～69 歳を除く年代は「平等である」が 30%を超えており、60～69 歳は『男性が優遇』が最も多く 52.1%となっている。

女性では、30 歳以上の年代は『男性が優遇』が 50%を超えており、40～59 歳では 60%を超えている。



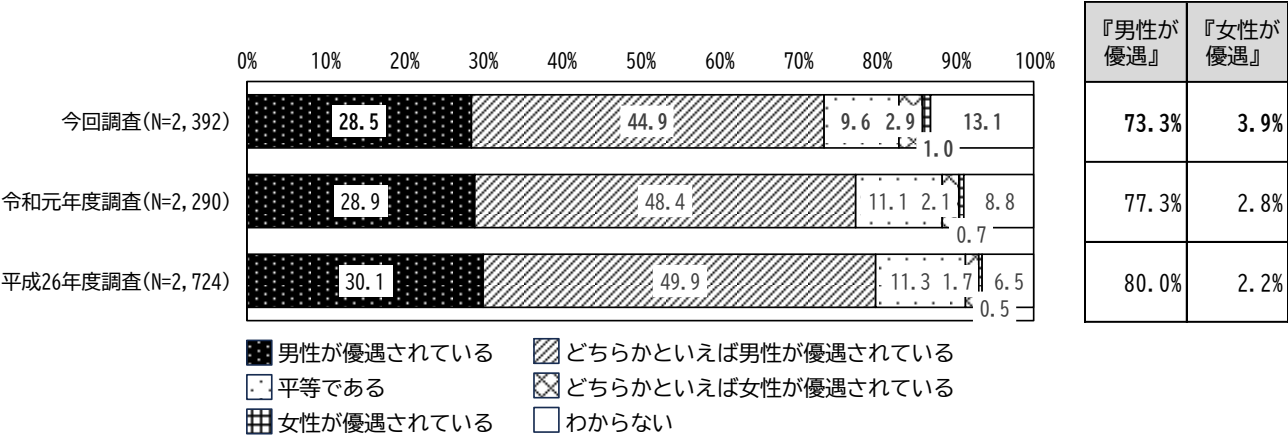
【地域別】（法律や制度の上で）

大津地域、湖南地域、甲賀地域、湖東地域、湖北地域では、『男性が優遇』が40%を超えている。



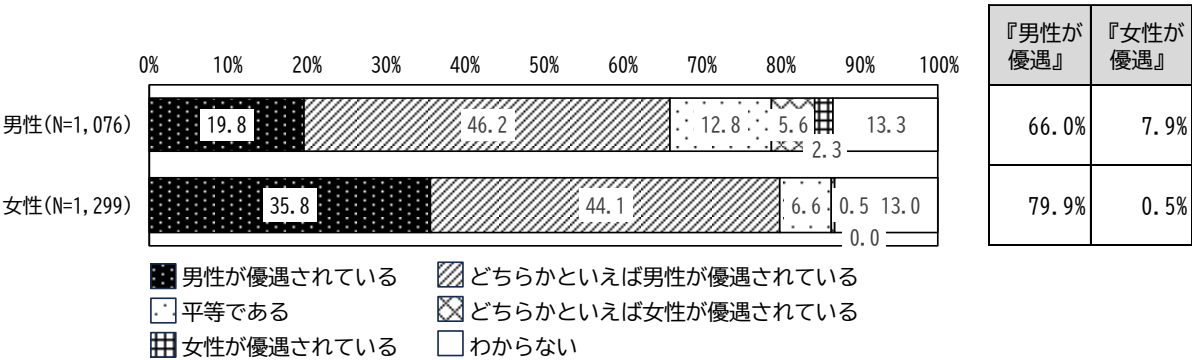
⑦ 社会通念・慣習・しきたりなど

社会通念・慣習・しきたりなどでの平等感は、令和元年度調査と比較して、『男性が優遇』は4.0ポイント低下している。



【性別】（社会通念・慣習・しきたりなど）

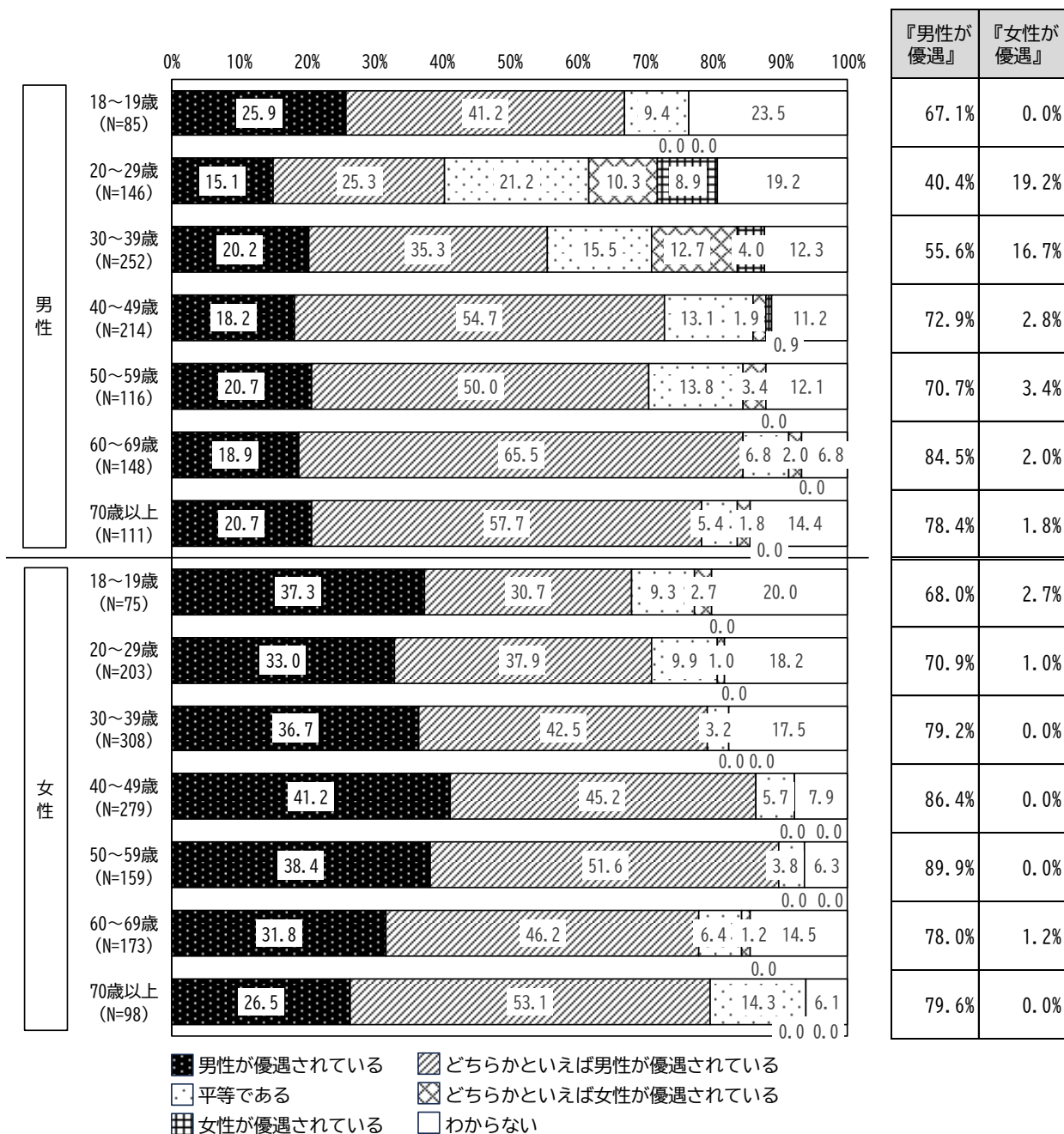
女性では、『男性が優遇』の割合が79.9%と高く、男性の66.0%を13.9ポイント上回っている。



【性・年代別】（社会通念・慣習・しきたりなど）

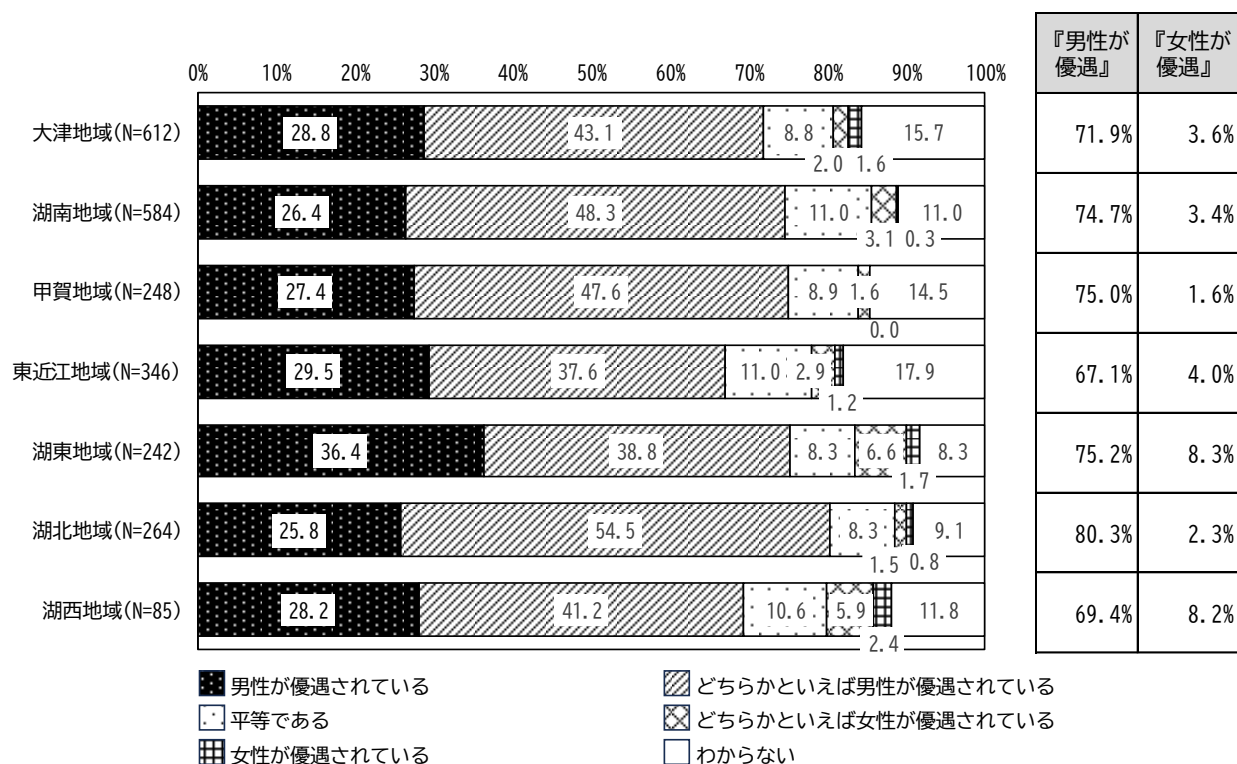
男性は、概ねどの年代（20～29歳を除く）においても『男性が優遇』が50%を超えており、60～69歳が最も多く84.5%となっている。

女性は、概ねどの年代（18～19歳を除く）においても『男性が優遇』が70%を超えており、40～59歳では80%を超えている。



【地域別】（社会通念・慣習・しきたりなど）

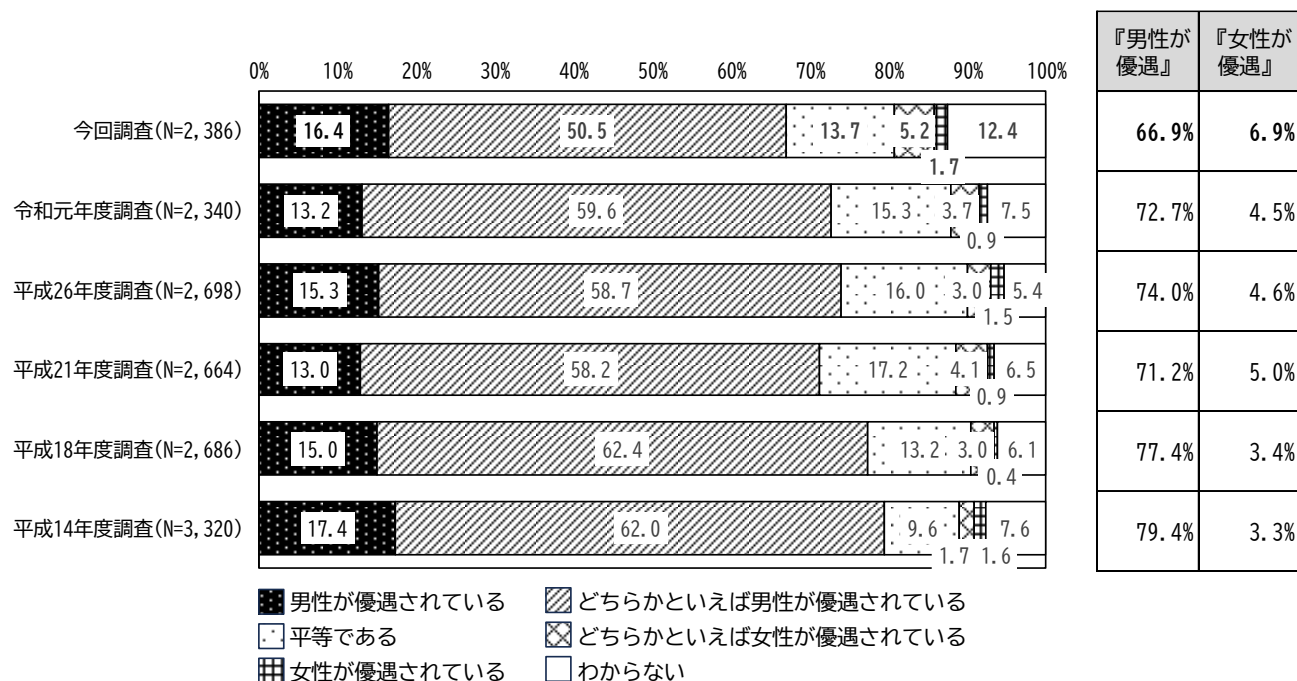
どの地域においても『男性が優遇』が60%を超えており、湖北地域が最も多く80.3%となっている。



⑧ 社会全体でみて

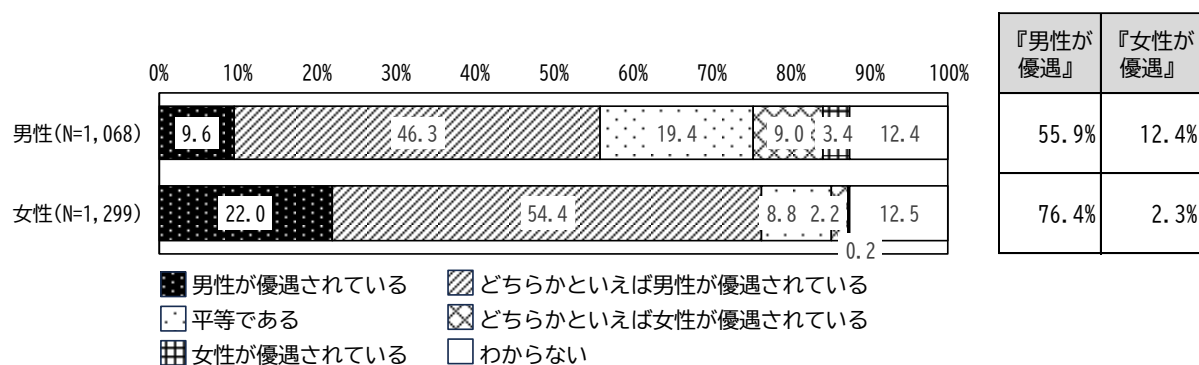
社会全体でみての平等感は、令和元年度調査と比較して『男性が優遇』は 5.8 ポイント低下している。

全体的にみると「平等である」と『男性が優遇』の比率は、平成 26 年度調査から低下傾向にあり、今回調査では「わからない」が上昇している。



【性別】（社会全体でみて）

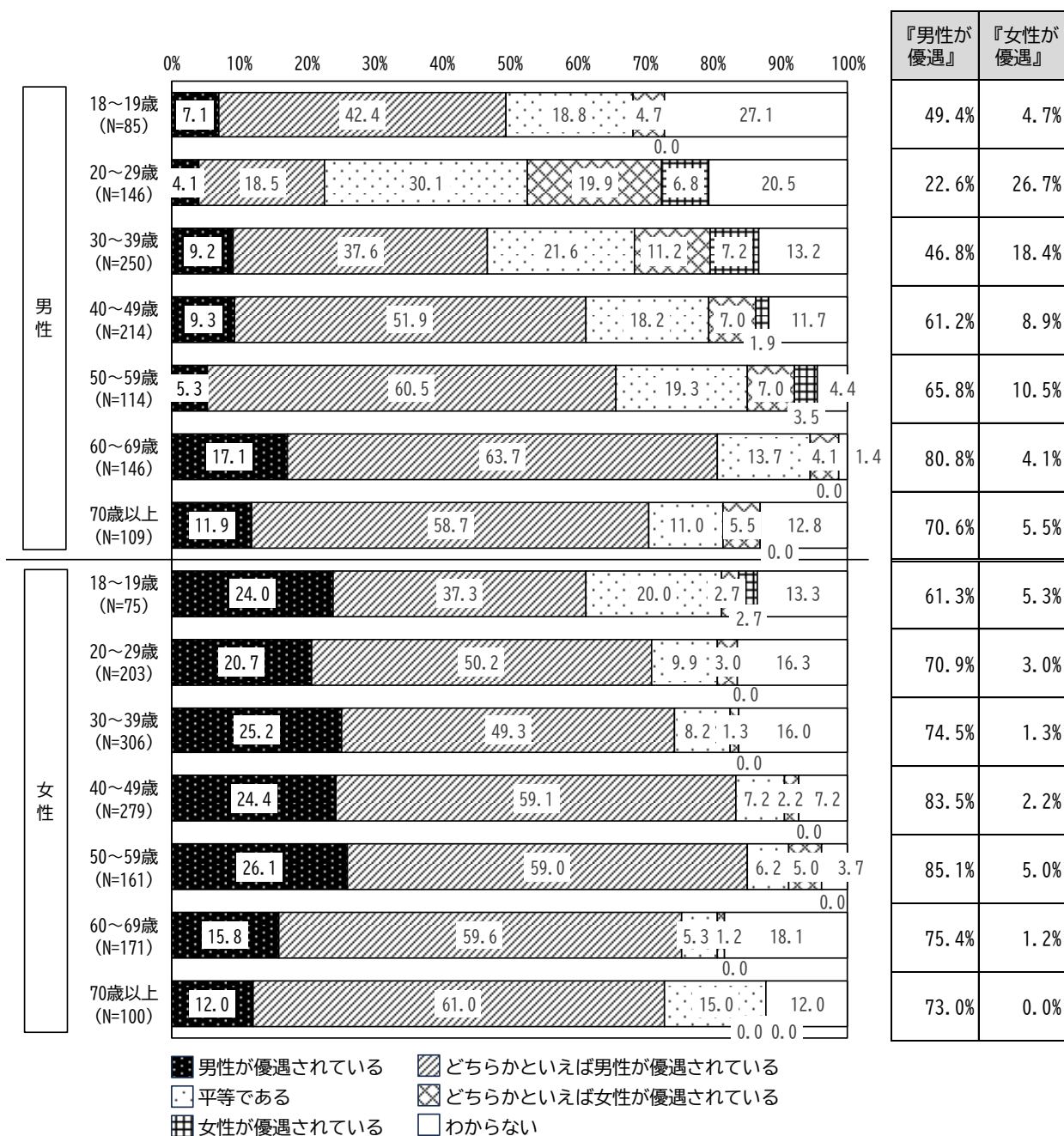
女性では、『男性が優遇』は 76.4%と高く、男性の 55.9%を 20.5 ポイント上回っている。



【性・年代別】（社会全体でみて）

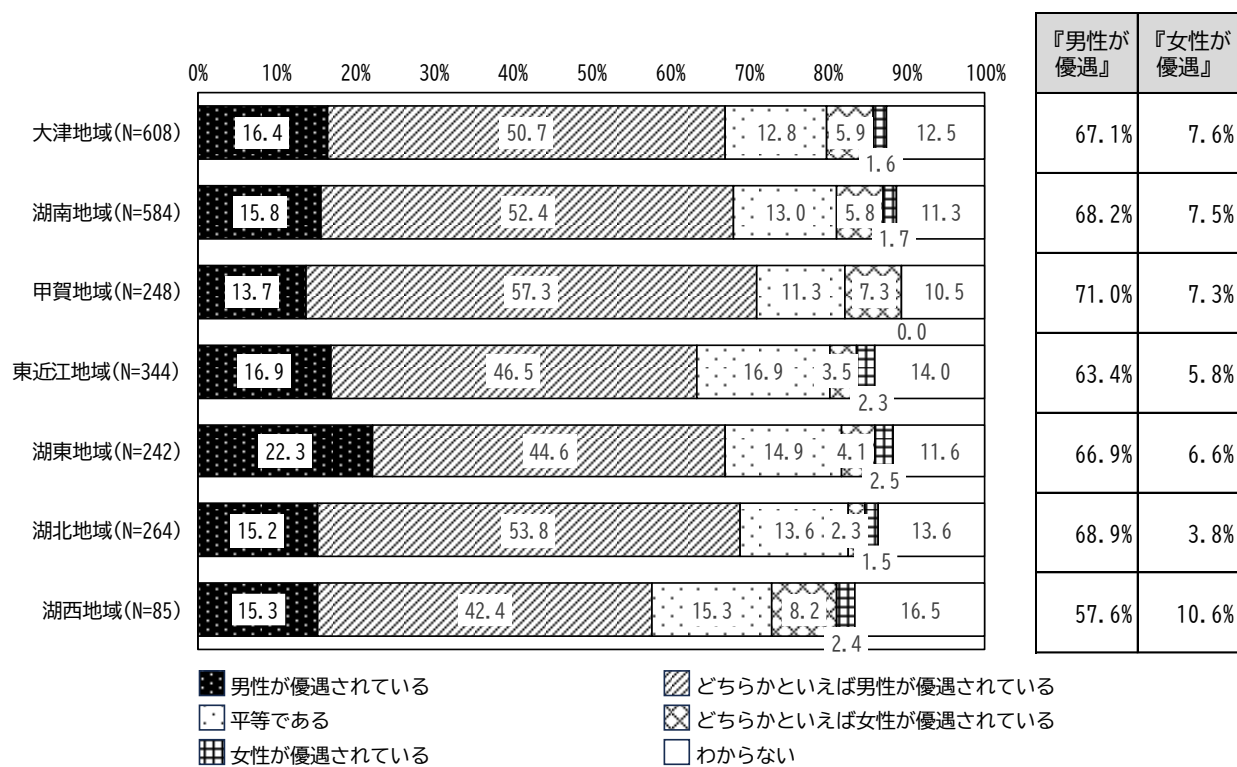
男性では、40 歳以上の年代は『男性が優遇』が 60%を超えており、60～69 歳が最も多く 80.8%となっている。

女性では、どの年代においても『男性が優遇』が 60%を超えており、40～59 歳では 80%を超えている。



【地域別】（社会全体でみて）

どの地域においても『男性が優遇』が50%を超えており、甲賀地域が最も多く71.0%となっている。

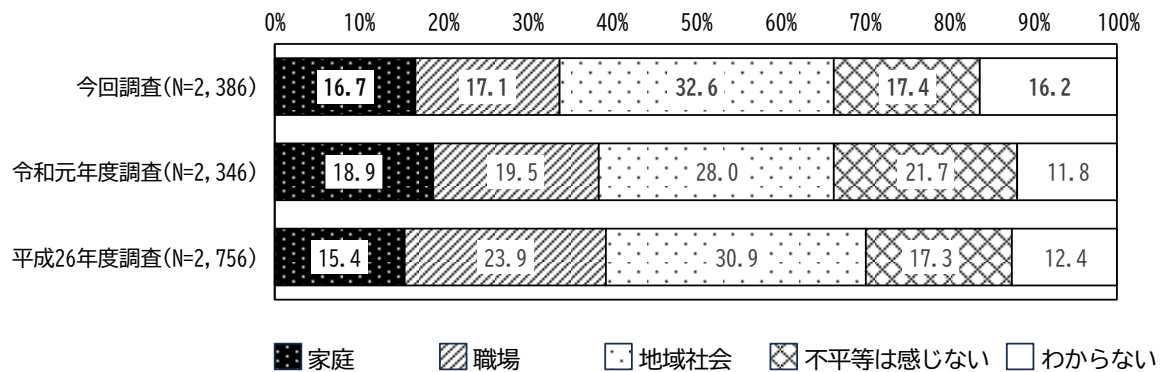


（２）日常生活の中で男女の不平等を一番感じるところ

問10 日常生活の中でご自身の実感として、男女の不平等を一番感じるところはどこですか。
番号を1つだけ選んでください。

●「地域社会」が最も多い

日常生活の中で男女の不平等を一番感じるところは、「地域社会」が最も多く 32.6%となっており、令和元年度調査と比較して 4.6 ポイント上昇している。また、「不公平は感じない」は 17.4%であり、4.3 ポイント低下している。

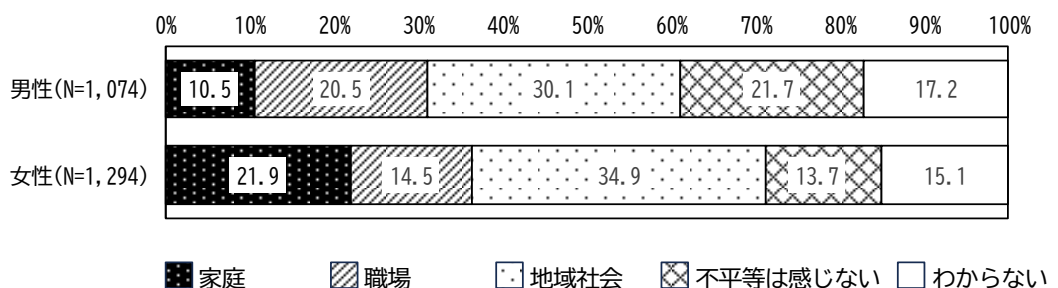


【性別】

男性では、「地域社会」が最も多く 30.1%、次いで「不公平は感じない」が 21.7%、「職場」20.5%と続いている。

女性では、「地域社会」が最も多く 34.9%、次いで「家庭」が 21.9%、「職場」が 14.5%と続いている。

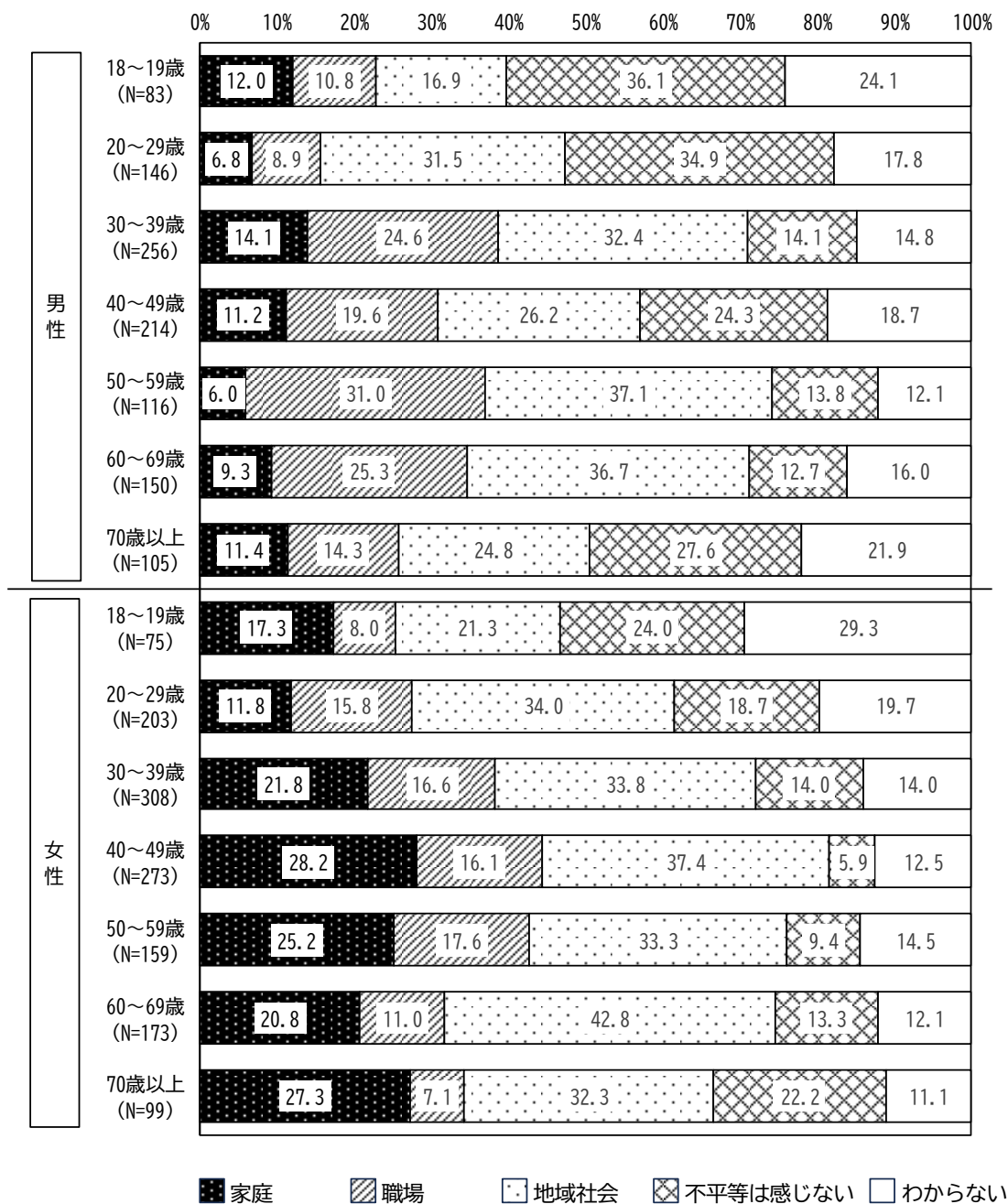
男性と女性で、特に不平等感の差が大きいのは「家庭」であり、男性が 10.5%に対し、女性は 21.9%が感じるとしており、その差は 11.4 ポイントとなっている。



【性・年代別】

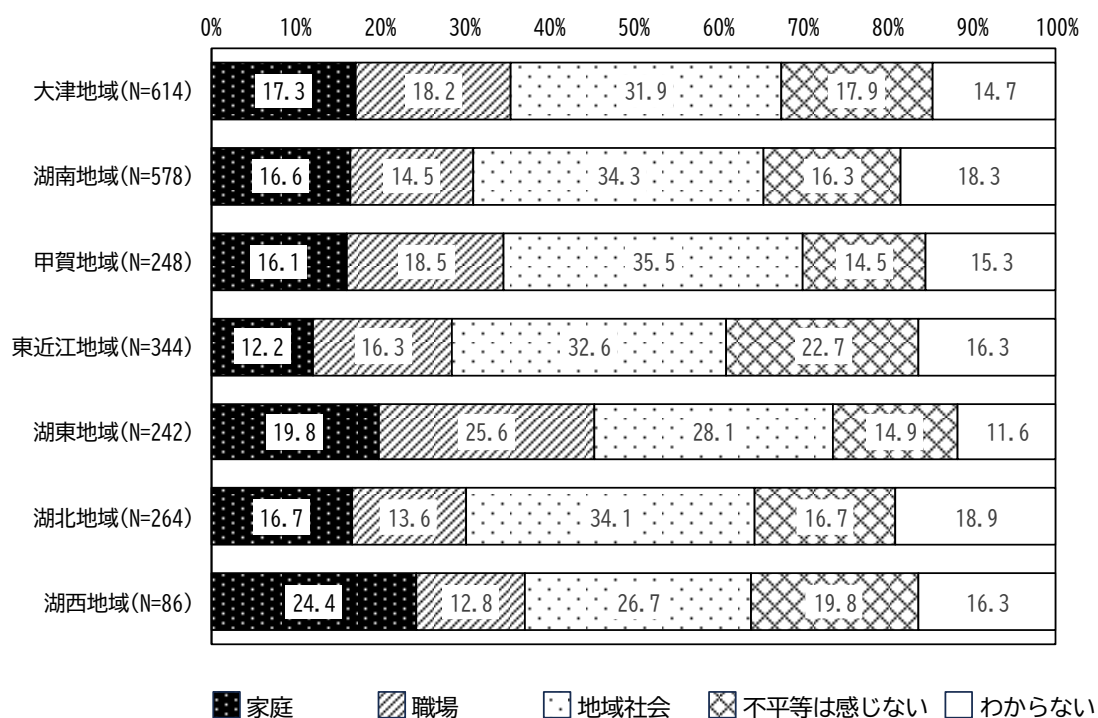
男性では、18～29 歳、70 歳以上は「不平等は感じない」が、30～69 歳は「地域社会」が最も多くなっている。

女性では、18～19 歳を除く年代は「地域社会」が最も多くなっている。30 歳以上では「家庭」も多くなっている。



【地域別】

どの地域においても「地域社会」が最も多くなっている。



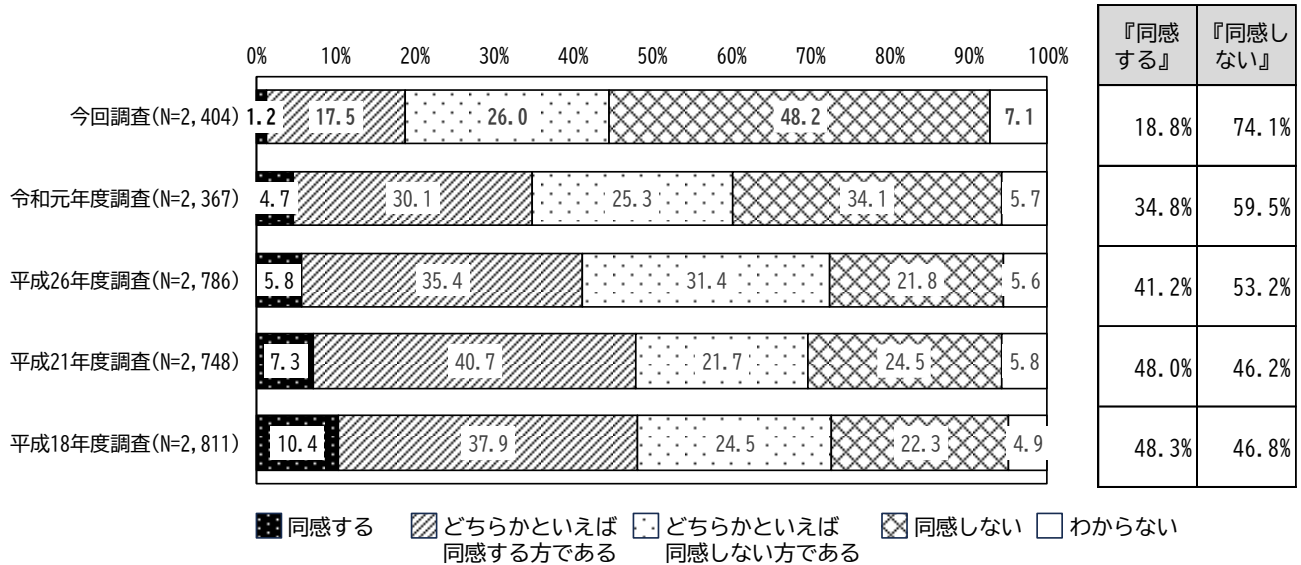
(3)「男性は仕事をし、女性は家庭を守るべき」という考え方

問11 「男性は仕事をし、女性は家庭を守るべき」という考え方がありますが、あなたの考え方に最も近いものの番号を、1つだけ選んでください。

●「男性は仕事をし、女性は家庭を守るべき」という考え方に『同感しない』は 74.1%

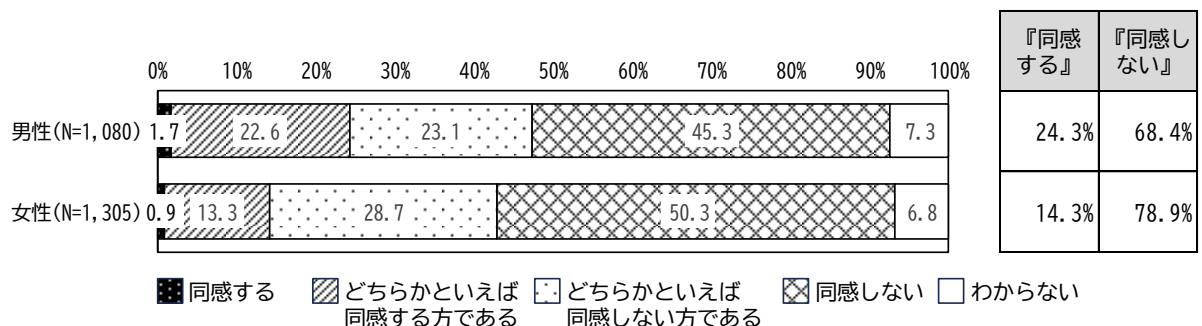
「男性は仕事をし、女性は家庭を守るべき」という考え方について、「同感する」と「どちらかといえば同感する方である」をあわせた『同感する』は 18.8%、令和元年度調査と比較して 16.0 ポイント低下している。「同感しない」と「どちらかといえば同感しない方である」をあわせた『同感しない』は 74.1%、14.6 ポイント上昇している。

全体的にみると『同感する』の比率は低下傾向、『同感しない』の比率は上昇傾向にある。



【性別】

男性では、『同感する』が 24.3%、『同感しない』が 68.4%、女性では、『同感する』が 14.3%、『同感しない』が 78.9%となっており、男性、女性ともに『同感しない』が『同感する』を大きく上回っている。『同感する』の割合は、男性の方が女性よりも 10.0 ポイント高くなっている。

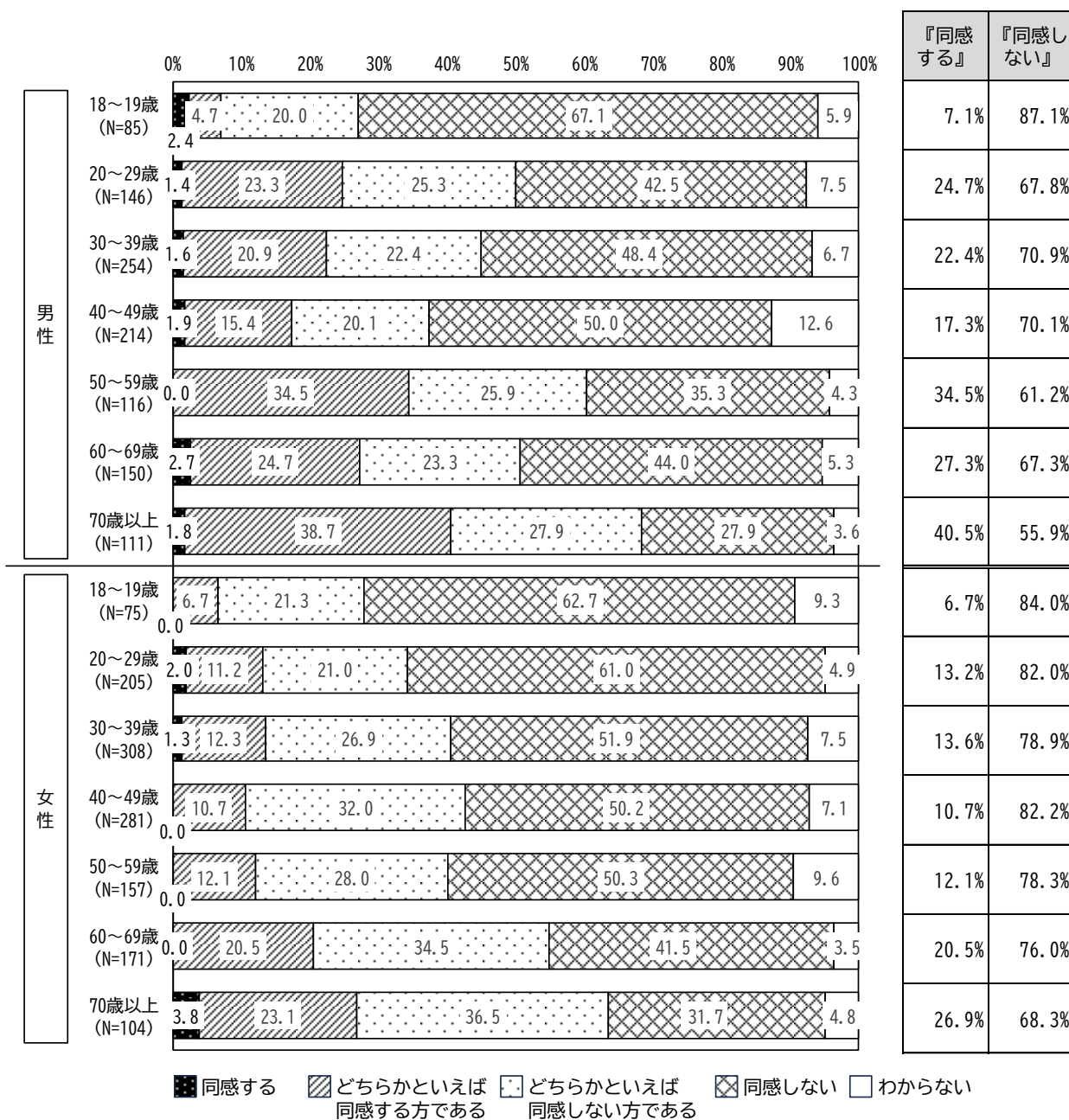


【性・年代別】

男性では、70歳以上は『同感する』が最も多く40.5%となっており、18～19歳は『同感しない』が最も多く87.1%となっている。

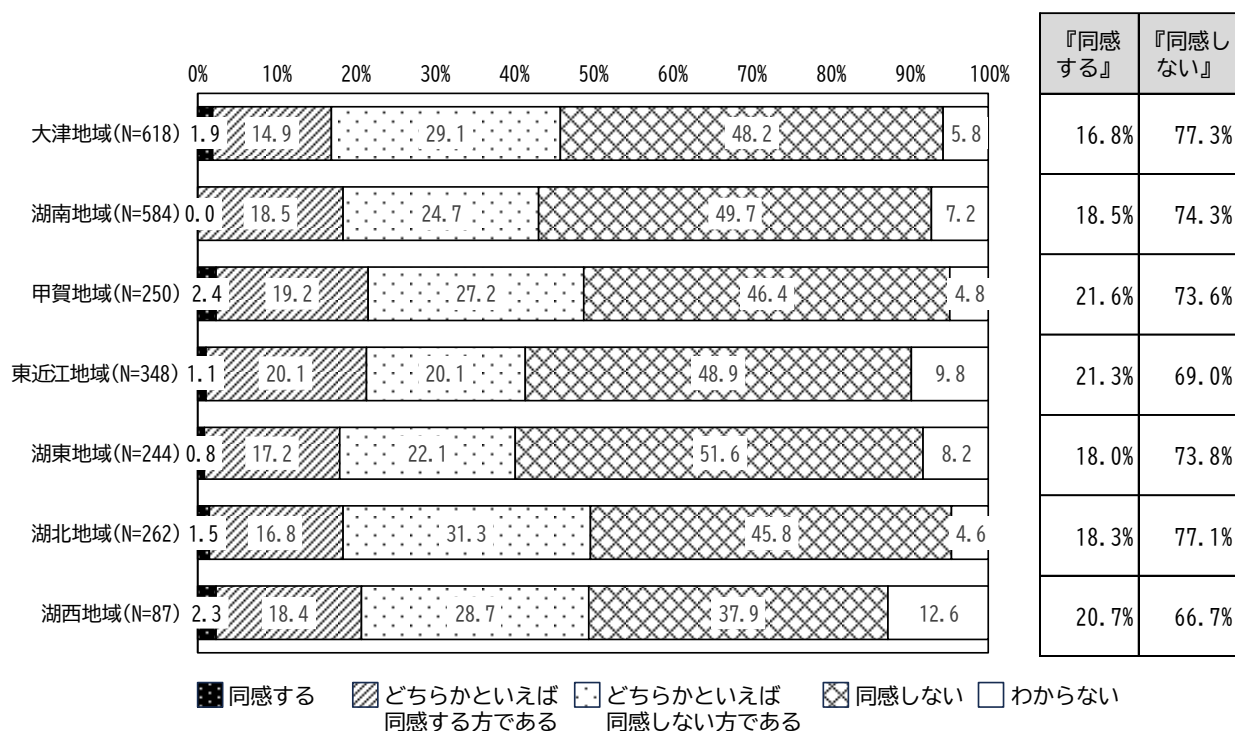
女性でも、70歳以上は『同感する』が最も多く26.9%となっており、18～19歳は『同感しない』が最も多く84.0%となっている。

総じて男性・女性とも比較的高い年齢層で「男性は仕事をし、女性は家庭を守るべき」という考え方を肯定する割合が高くなっている。



【地域別】

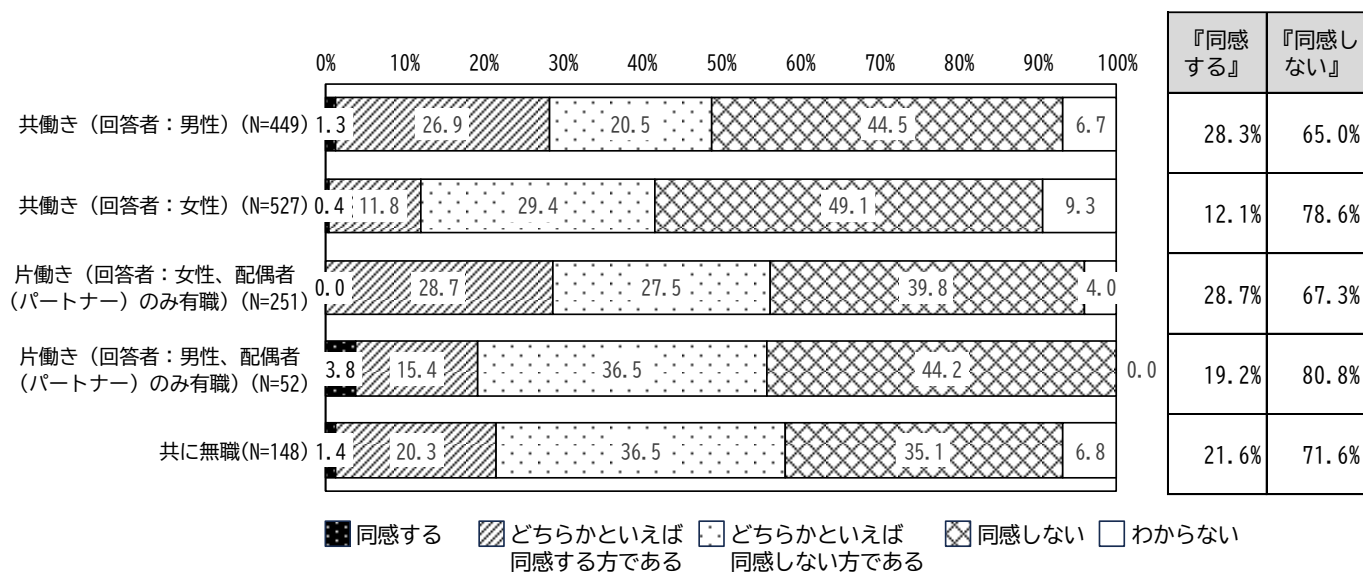
どの地域においても『同感しない』が60%を超えている。



【片働き・共働き別】

『同意する』の割合をみると、片働き（回答者：女性、配偶者（パートナー）のみ有職）が最も多く28.7%、次いで共働き（回答者：男性）が28.3%と続いている。

『同意しない』の割合をみると、片働き（回答者：男性、配偶者（パートナー）のみ有職）が最も多く80.8%、次いで共働き（回答者：女性）が78.6%と続いている。



(4)「同感する」「どちらかといえば同感する方である」と考える理由

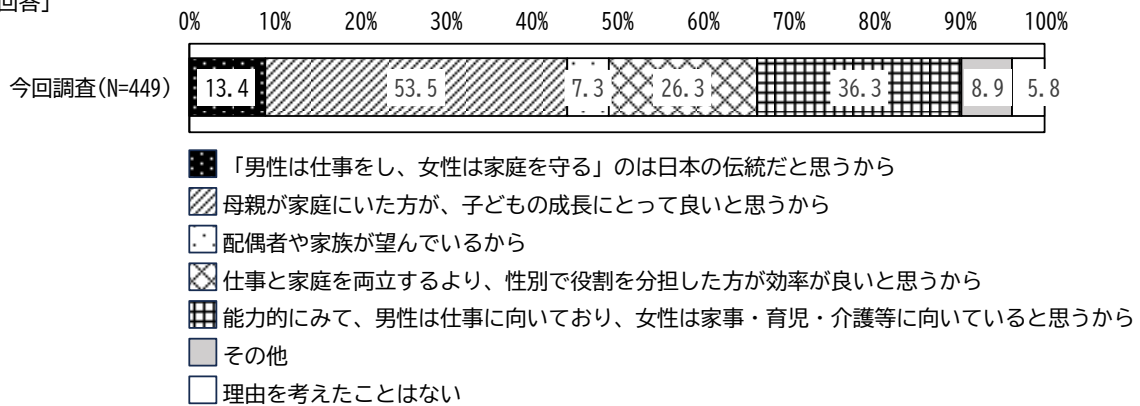
付問1 問11で「1」または「2」と回答された方へおたずねします。

「同感する」、「どちらかといえば同感する方である」とお考えの理由は次のどれに当たりますか。あなたの考え方に近いものの番号を、すべて選んでください。

●「母親が家庭にいた方が、子どもの成長にとって良いと思うから」が53.5%で最多

「男性が仕事をし、女性が家庭を守るべき」という考え方に『同感する』理由は、「母親が家庭にいた方が、子どもの成長にとって良いと思うから」が最も多く53.5%となっている。

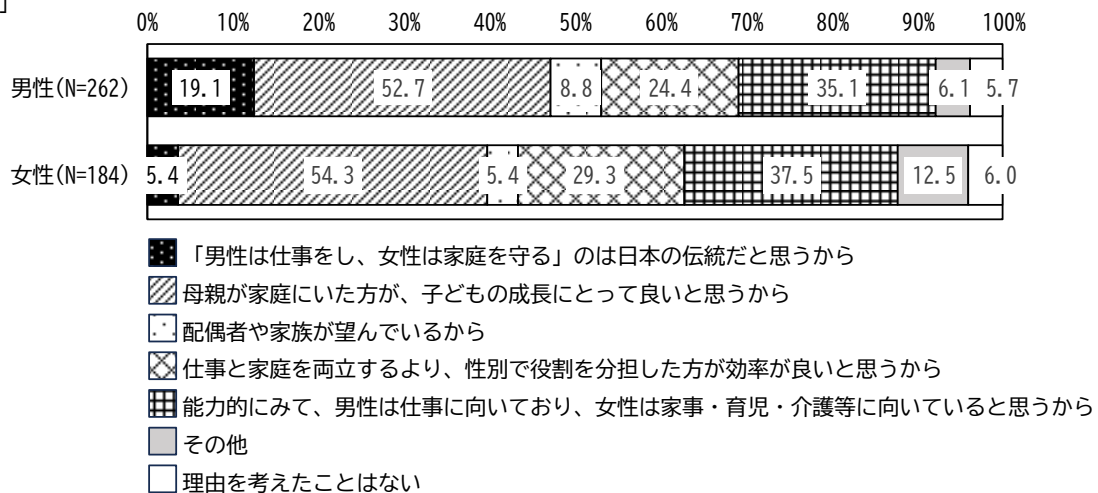
[複数回答]



【性別】

男性、女性とも「母親が家庭にいた方が、子どもの成長にとって良いと思うから」が最も多く、男性が52.7%、女性が54.3%、次いで「能力的にみて、男性は仕事に向いており、女性は家事・育児・介護に向いていると思うから」が多く、男性が35.1%、女性が37.5%となっている。

[複数回答]

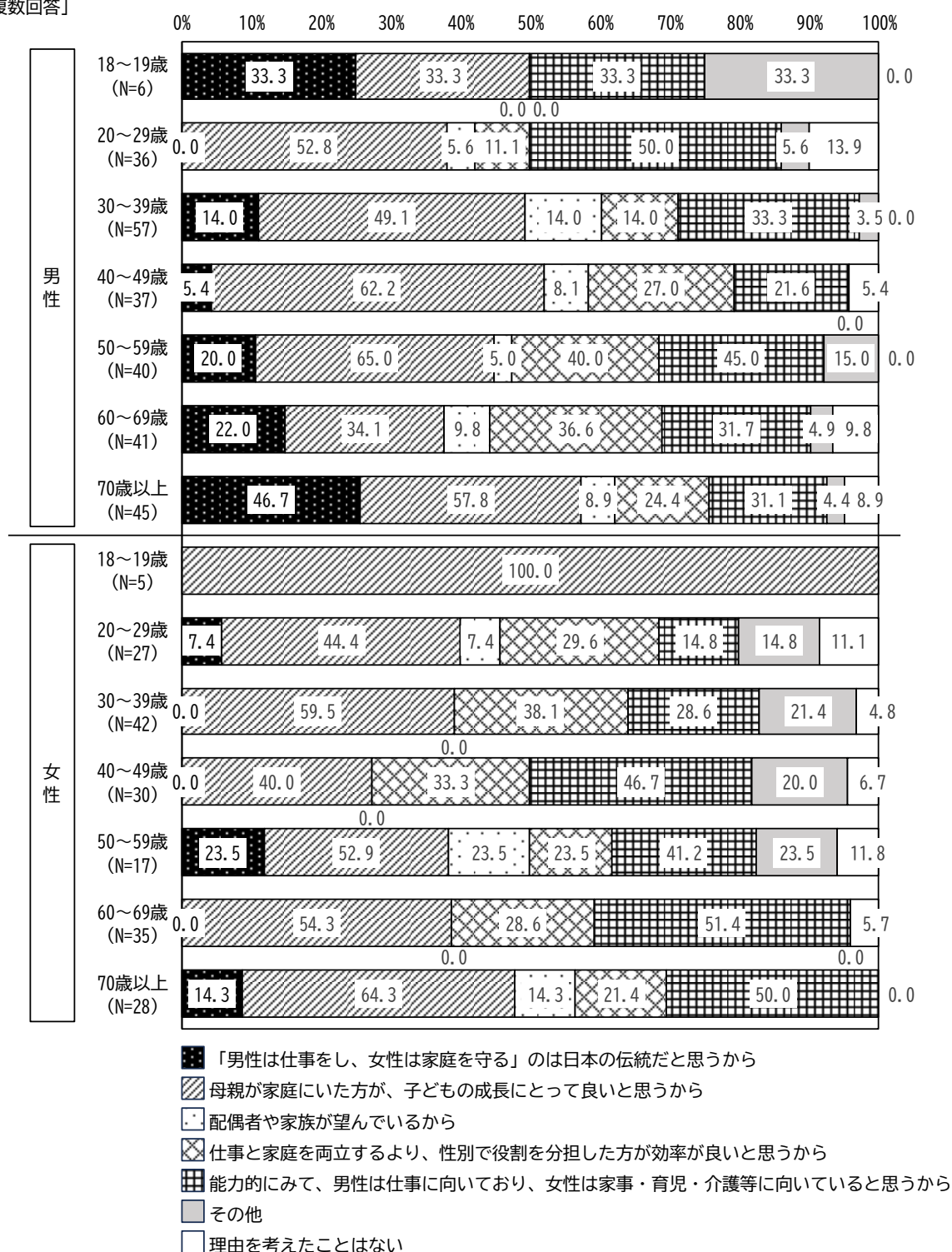


【性・年代別】

男性では、60～69 歳を除く年代は「母親が家庭にいた方が、子どもの成長にとって良いと思うから」が最も多くなっている。(18～19 歳は「男性は仕事をし、女性は家庭を守る」のは日本の伝統だと思うから」「仕事と家庭を両立するより、性別で役割を分担した方が効率が良いと思うから」「能力的にみて、男性は仕事に向いており、女性は家事・育児・介護等に向いていると思うから」「その他」と同率)

女性では、40～49 歳を除く年代は「母親が家庭にいた方が、子どもの成長にとって良いと思うから」が最も多くなっている。

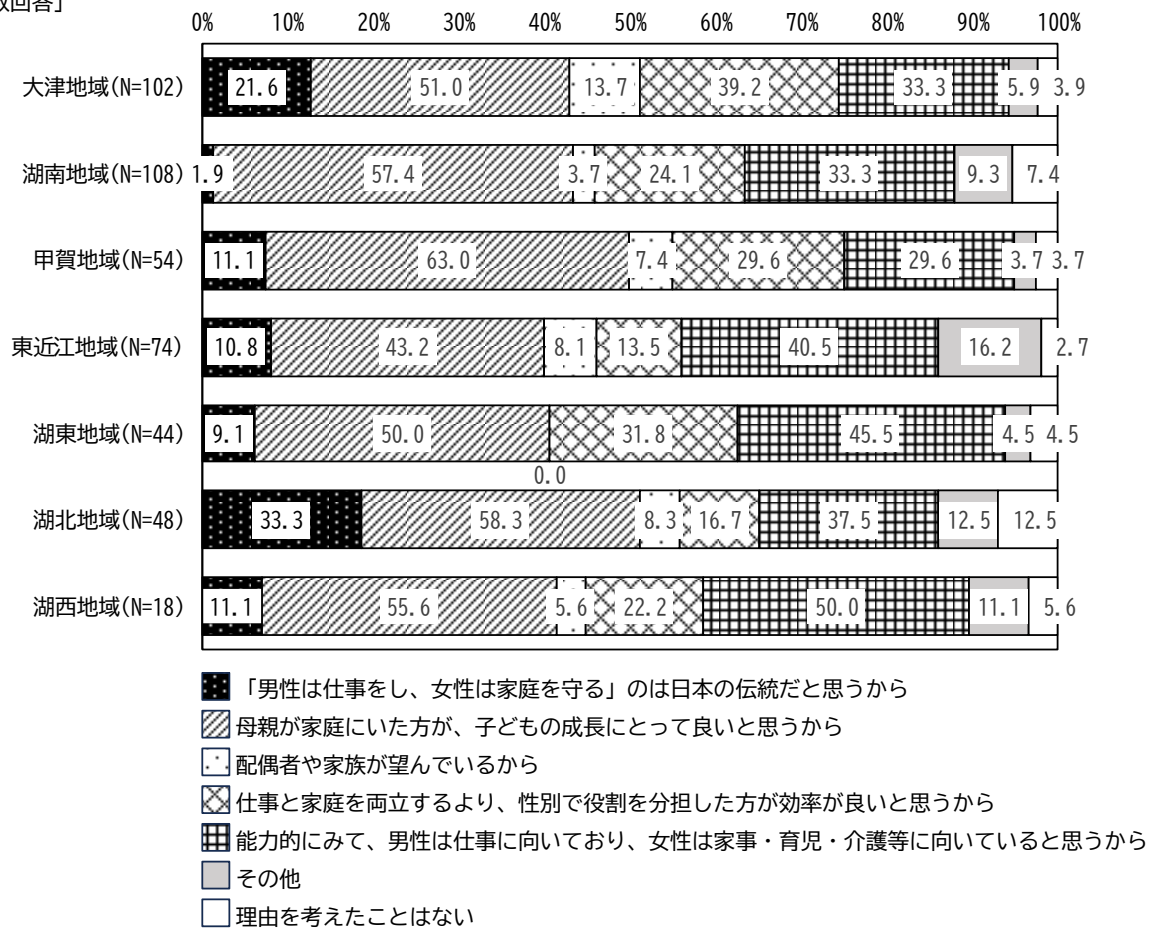
[複数回答]



【地域別】

どの地域においても「母親が家庭にいた方が、子どもの成長にとって良いと思うから」が最も多くなっている。

[複数回答]



(5)「どちらかといえば同感しない方である」「同感しない」と考える理由

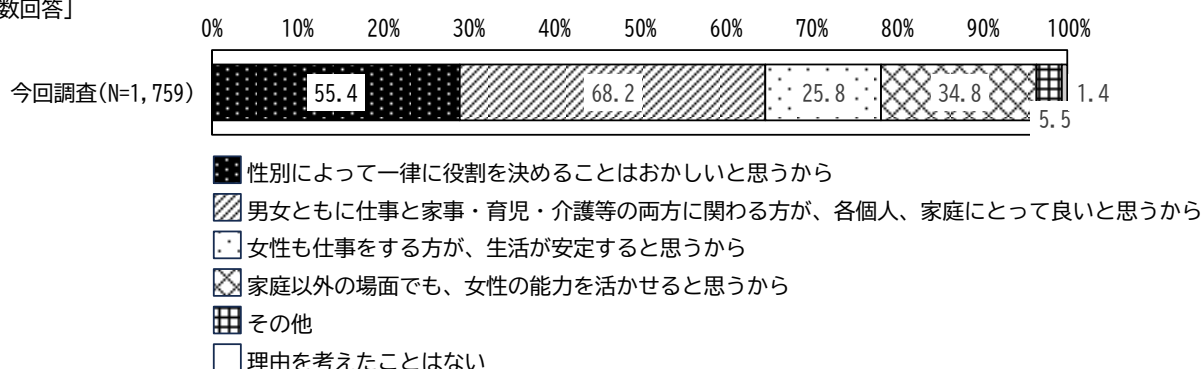
付問2 問11で「3」または「4」と回答された方へおたずねします。

「どちらかといえば同感しない方である」「同感しない」とお考えの理由は次のどれに当たりますか。あなたの考え方に近いものの番号を、すべて選んでください。

- 「男女ともに仕事と家事・育児・介護等の両方に関わる方が、各個人、家庭にとって良いと思うから」が 68.2%

「男性が仕事をし、女性が家庭を守るべき」という考え方に『同感しない』理由は、「男女ともに仕事と家事・育児・介護等の両方に関わる方が、各個人、家庭にとって良いと思うから」が最も多く 68.2%、次いで「性別によって一律に役割を決めることはおかしいと思うから」が 55.4%と多くなっている。

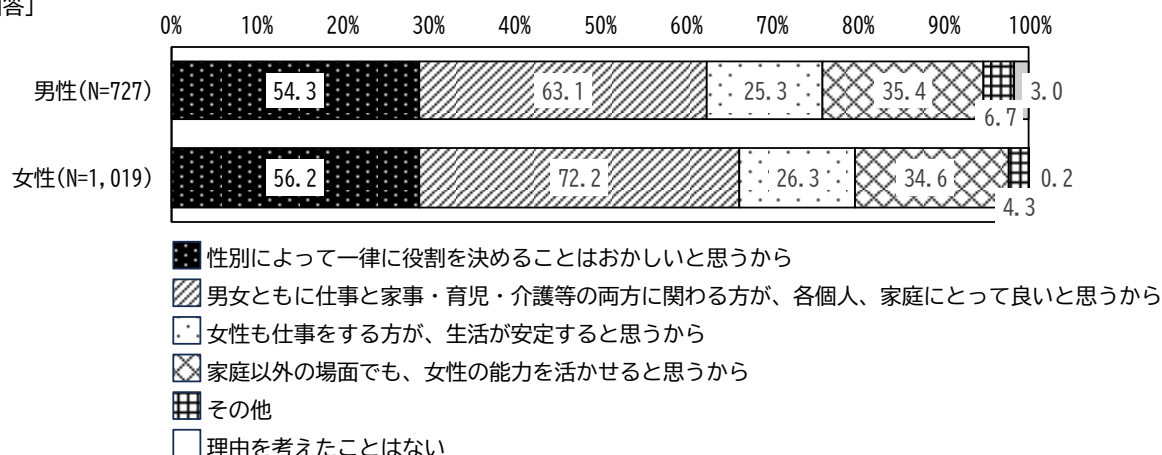
[複数回答]



【性別】

男性、女性とも「男女ともに仕事と家事・育児・介護等の両方に関わる方が、各個人、家庭にとって良いと思うから」が最も多く、男性が 63.1%、女性が 72.2%、次いで「性別によって一律に役割を決めることはおかしいと思うから」が多く、男性が 54.3%、女性が 56.2%となっている。

[複数回答]

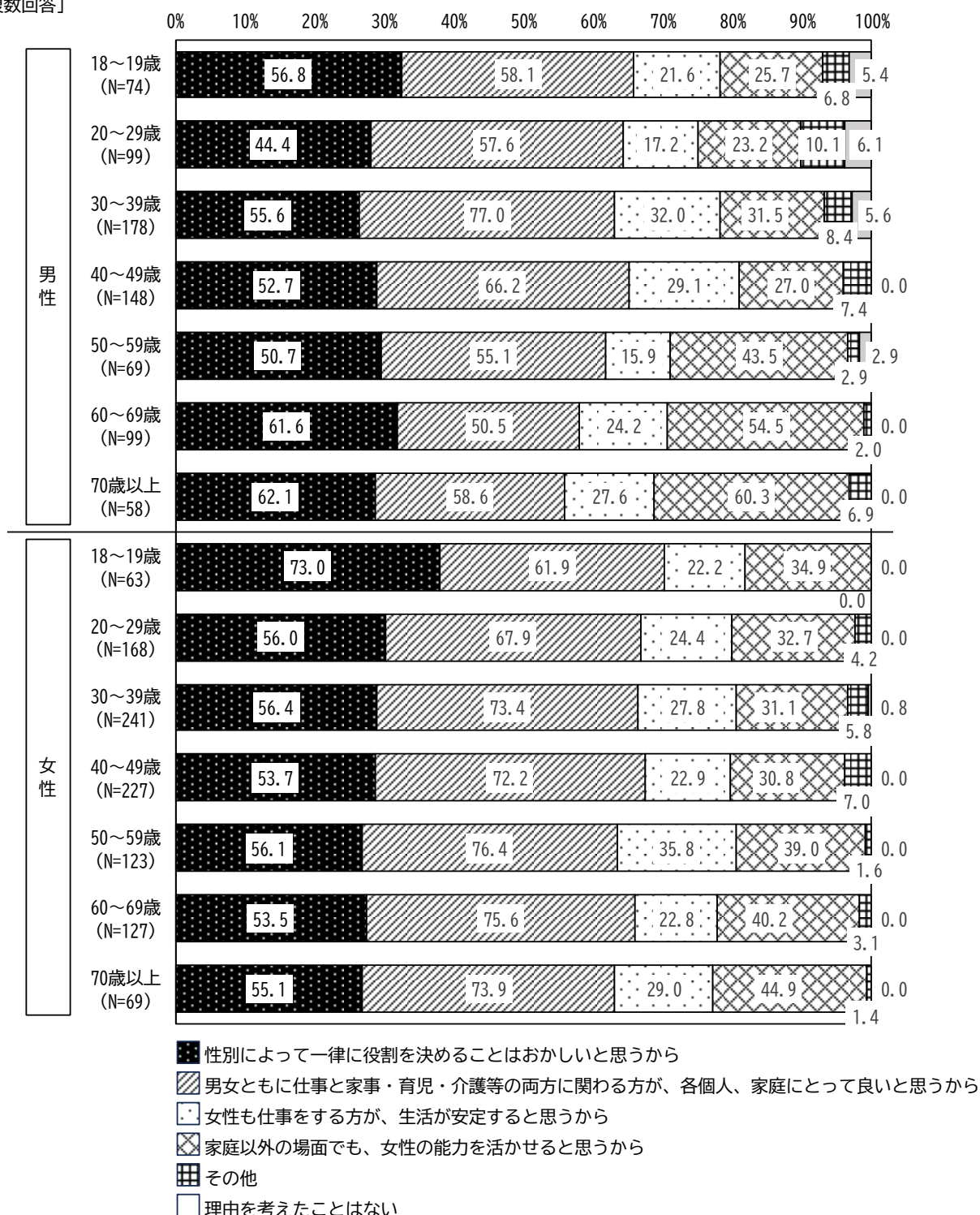


【性・年代別】

男性では、18～59 歳は「男女ともに仕事と家事・育児・介護等の両方に関わる方が、各個人、家庭にとって良いと思うから」が、60 歳以上は「性別によって一律に役割を決めることはおかしいと思うから」が最も多くなっている。

女性では、18～19 歳を除く年代は「男女ともに仕事と家事・育児・介護等の両方に関わる方が、各個人、家庭にとって良いと思うから」が、18～19 歳は「性別によって一律に役割を決めることはおかしいと思うから」が最も多くなっている。

[複数回答]



【地域別】

どの地域においても「男女ともに仕事と家事・育児・介護等の両方に関わる方が、各個人、家庭にとって良いと思うから」が最も多く、次いで湖北地域を除く地域は「性別によって一律に役割を決めることはおかしいと思うから」となっている。

〔複数回答〕

